

南知多町地域公共交通網形成計画

平成28年3月

南 知 多 町

目 次

序 本計画の目的と位置づけ	1
序－1 計画の目的	1
序－2 計画の区域	1
序－3 計画の期間	1
1 南知多町の概況	2
1－1 南知多町の概況	2
1－2 公共交通の現況	10
1－3 課題	21
2 地域公共交通総合連携計画の実施状況と課題	22
2－1 連携計画の実施状況と課題	22
2－2 付加すべき視点	32
3 基本方針と目標	33
3－1 上位計画におけるまちづくり目標の整理	33
3－2 地域公共交通の将来像と基本方針・目標の見直し	36
3－3 計画の目標の見直し	38
3－4 公共交通ネットワークの方向	42
4 目標を達成するための事業	44
4－1 事業概要	44
4－2 個別事業の概要	45
5 計画の達成状況の評価	51
5－1 P D C Aサイクルの構築	51
5－2 評価の方法及びスケジュール	51
資料編	53
資料－1 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会委員名簿	53
資料－2 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会開催経緯	55

序 本計画の目的と位置づけ

序－１ 計画の目的

南知多町では、平成 22 年 3 月に「南知多町地域公共交通総合連携計画」（以下「連携計画」という。計画期間平成 22 年度～平成 32 年度。）を策定し、平成 22 年 10 月から海っ子バス豊浜線、西海岸線の実証運行を行ってきました。

バスの実証運行にあたっては、ゾーン制運賃の導入と運賃低廉化を愛知県下で最も早く導入し、利用者増につなげてきました。

平成 25 年 10 月からは、本運行とし、西海岸線の延伸・増便、豊浜線のルート変更・運行時間延長を実施してきました。

海上交通の運航時間延長の実証運航、タウンミーティングやイベントの開催・ボランティアによる観光ガイドなど、住民との協働による利用促進活動にも積極的に取り組んできました。

今回、地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、現行の連携計画が法定計画でなくなったこと、連携計画の計画期間の中間点を過ぎ、公共交通を取り巻く状況の変化に対応して見直しが必要となったことから、法に基づく「南知多町地域公共交通網形成計画」を策定するものです。

序－２ 計画の区域

計画の区域は、鉄道、バス、船の連携を図り、一体的に進める必要があるため、町域全域を基本とし、河和駅、知多厚生病院等へのバス路線沿線も含みます。

序－３ 計画の期間

本計画は、連携計画を見直して作成することから、同計画と計画目標年次をあわせるものとし、平成 28 年度～平成 32 年度の 5 年間とします。

1 南知多町の概況

1-1 南知多町の概況

(1) 南知多町の位置

南知多町は、知多半島の最南端に位置し、名古屋市からは約 60 km の距離にあります。北部が美浜町と隣接しているほかは三方を海に囲まれ、東は三河湾、南西は伊勢湾に面しています。町域は、東西 15.0 km、南北 12.1 km におよび、行政面積は 38.37km² です。三河湾国定公園と南知多県立自然公園に指定されています。

鉄道は、名古屋鉄道知多新線が町の北西部にある内海駅まで通っており、内海駅から約 60 分で名鉄名古屋駅へ連絡しています。



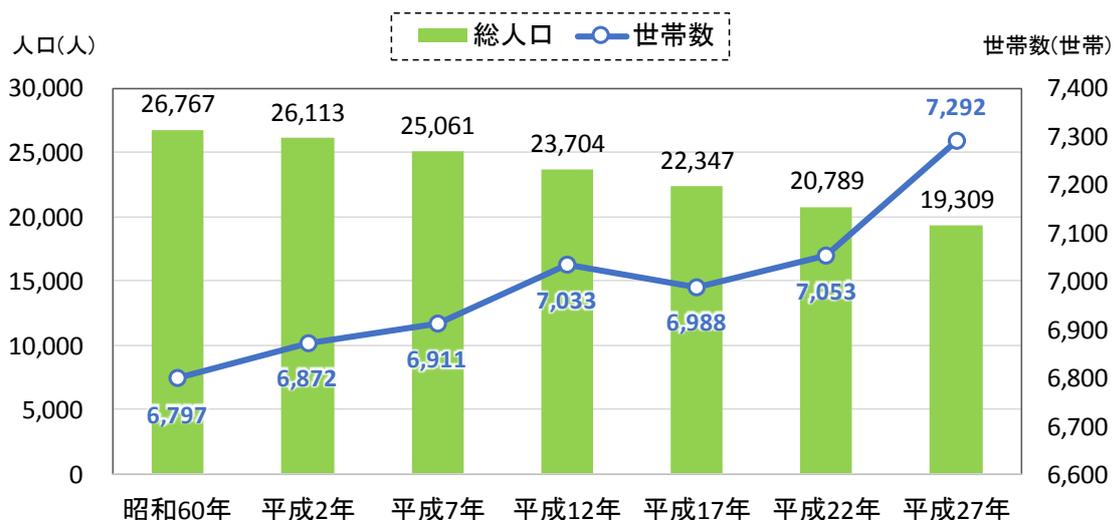
(2) 人口特性

1) 概要

南知多町の総人口は、平成 27 年 3 月末現在で 19,309 人です。人口および世帯数の推移を見ると、人口は減少が続いていますが、世帯数は増加傾向となっており、1 世帯当たりの世帯人員が減少していることが伺えます。

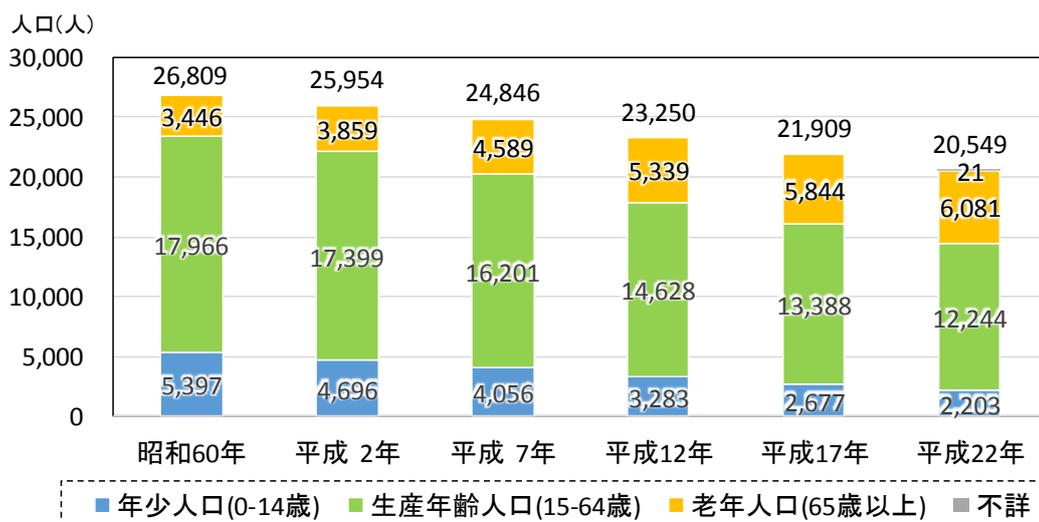
町の高齢化率は、約 30% に達しています（国勢調査平成 22 年）。年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15 歳～64 歳）がともに減少する一方、老年人口（65 歳以上）は増加し、町の高齢化が年々進行しています。

■総人口・世帯数の推移



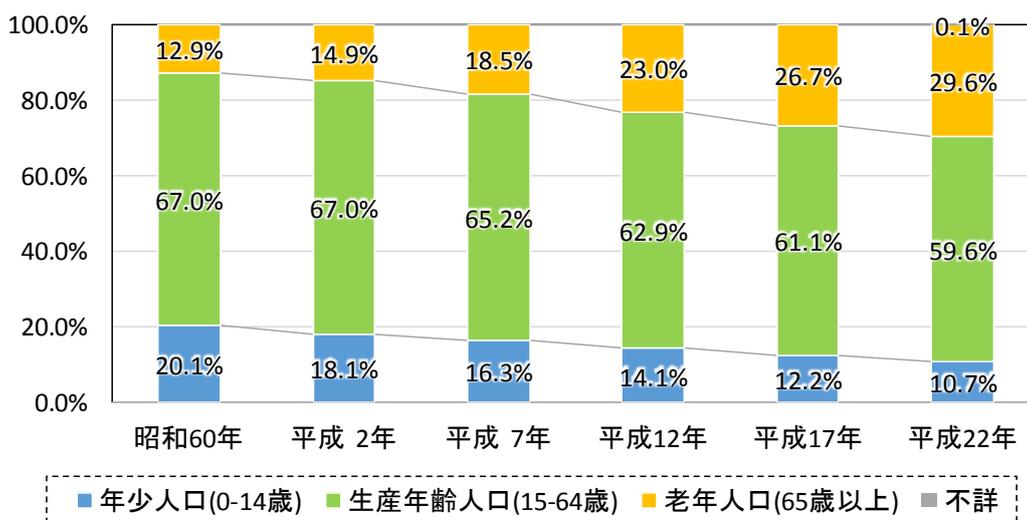
出典：住民基本台帳（各年 3 月末現在）

■ 年齢区分別人口の推移



出典：国勢調査

■ 年齢区分別構成比の推移



出典：国勢調査

■ 人口構成一覽表

年度	総数(人)	年少人口(0-14歳)		生産年齢人口(15-64歳)		老年人口(65歳以上)		不詳	
		人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
昭和60年	26,809	5,397	20.1%	17,966	67.0%	3,446	12.9%	—	—
平成 2年	25,954	4,696	18.1%	17,399	67.0%	3,859	14.9%	—	—
平成 7年	24,846	4,056	16.3%	16,201	65.2%	4,589	18.5%	—	—
平成12年	23,250	3,283	14.1%	14,628	62.9%	5,339	23.0%	—	—
平成17年	21,909	2,677	12.2%	13,388	61.1%	5,844	26.7%	—	—
平成22年	20,549	2,203	10.7%	12,244	59.6%	6,081	29.6%	21	0.1%

出典：国勢調査

2) 地区別人口構成

地区別の人口を見ると、内海地区と豊浜地区の人口が多くなっています。

年齢別に見ると、篠島地区、日間賀島地区の島部では、年少人口（0～14歳）の割合が他地区よりもやや高く、山海地区、豊浜地区、豊丘地区では低くなっています。生産年齢人口（15歳～64歳）は、豊浜地区、大井地区、片名地区でやや高く、豊丘地区、師崎地区、篠島地区、日間賀島地区でやや低くなっています。

老年人口（65歳以上）は、山海地区、豊丘地区、師崎地区では30%を越しており、大井地区が25.5%と一番低くなっています。

■地区別人口構成一覧

地区名	人口(人)			年齢別人口(人)				世帯数 (世帯)
	総数	男	女	0～14歳	15～64歳	65歳以上	不詳	
内海	4,684	2,240	2,444	515	2804	1355	10	1,757
山海	1,168	583	585	104	687	377	-	388
豊浜	4,642	2,196	2,446	414	2870	1349	9	1,681
豊丘	1,288	618	670	112	732	444	-	315
大井	1,964	984	980	219	1244	501	-	705
片名	1,290	619	671	143	779	368	-	436
師崎	1,699	816	883	175	941	581	2	651
篠島	1,763	884	879	232	1013	518	-	634
日間賀島	2,051	1,008	1,043	289	1174	588	-	630
町全体	20,549	9,948	10,601	2,203	12,244	6,081	21	7,197

出典：平成22年国勢調査

■地区別人口構成比一覧

地区名	人口(人)			年齢別人口(人)			
	総数	男	女	0～14歳	15～64歳	65歳以上	不詳
内海	22.8%	22.5%	23.1%	11.0%	59.9%	28.9%	0.2%
山海	5.7%	5.9%	5.5%	8.9%	58.8%	32.3%	-
豊浜	22.6%	22.1%	23.1%	8.9%	61.8%	29.1%	0.2%
豊丘	6.2%	6.2%	6.3%	8.7%	56.8%	34.5%	-
大井	9.5%	9.9%	9.2%	11.2%	63.3%	25.5%	-
片名	6.3%	6.2%	6.3%	11.1%	60.4%	28.5%	-
師崎	8.3%	8.2%	8.3%	10.3%	55.4%	34.2%	0.1%
篠島	8.6%	8.9%	8.3%	13.2%	57.4%	29.4%	-
日間賀島	10.0%	10.1%	9.9%	14.1%	57.2%	28.7%	-
町全体	100.0%	100.0%	100.0%	10.7%	59.6%	29.6%	0.1%

出典：平成22年国勢調査

3) 将来人口予測

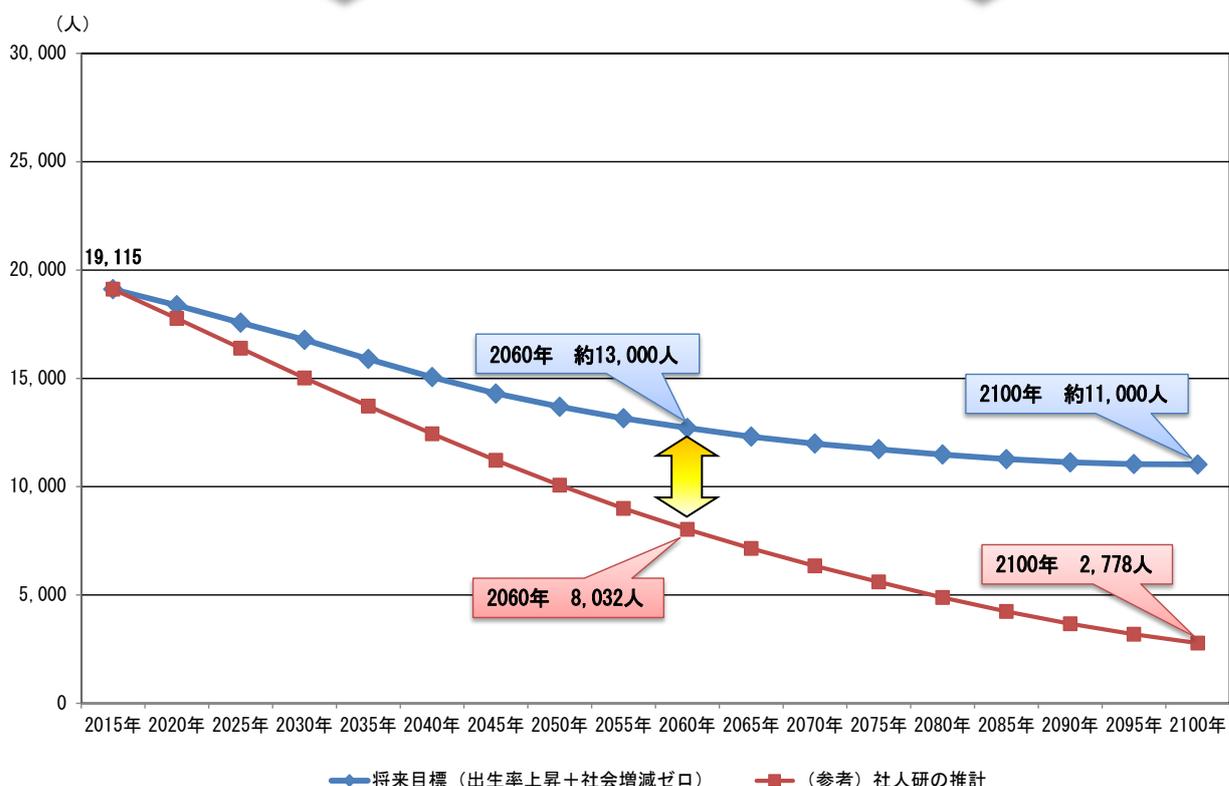
第6次南知多町総合計画における人口フレームでは、平成32年の将来人口を19,000人に設定しています。

ただ、人口の将来展望は厳しく、国立社会保障・人口問題研究所の推計をベースに2100年までの推計を行った結果、2060年には人口が8,032人、2100年には人口が2,778人まで減少となりました。

この結果を受け、少子高齢化を抑制しつつ、将来的に人口減少に歯止めをかけることができるよう、国の長期的な人口の見通しに合わせ、合計特殊出生率を2030年までに1.8まで引き上げ、さらに2040年までに2.1まで上昇させ、定住、転入促進により、社会移動数を実質0人にすることを目指します。

○子育て環境の魅力を高めつつ、結婚や出産、子育てに対する経済的な不安を解消するとともに、男女の出会いの場、子育てと仕事の両立ができる職場環境の確保などの施策を展開し、合計特殊出生率を2030年に1.8、2040年までに2.07まで上昇させます。

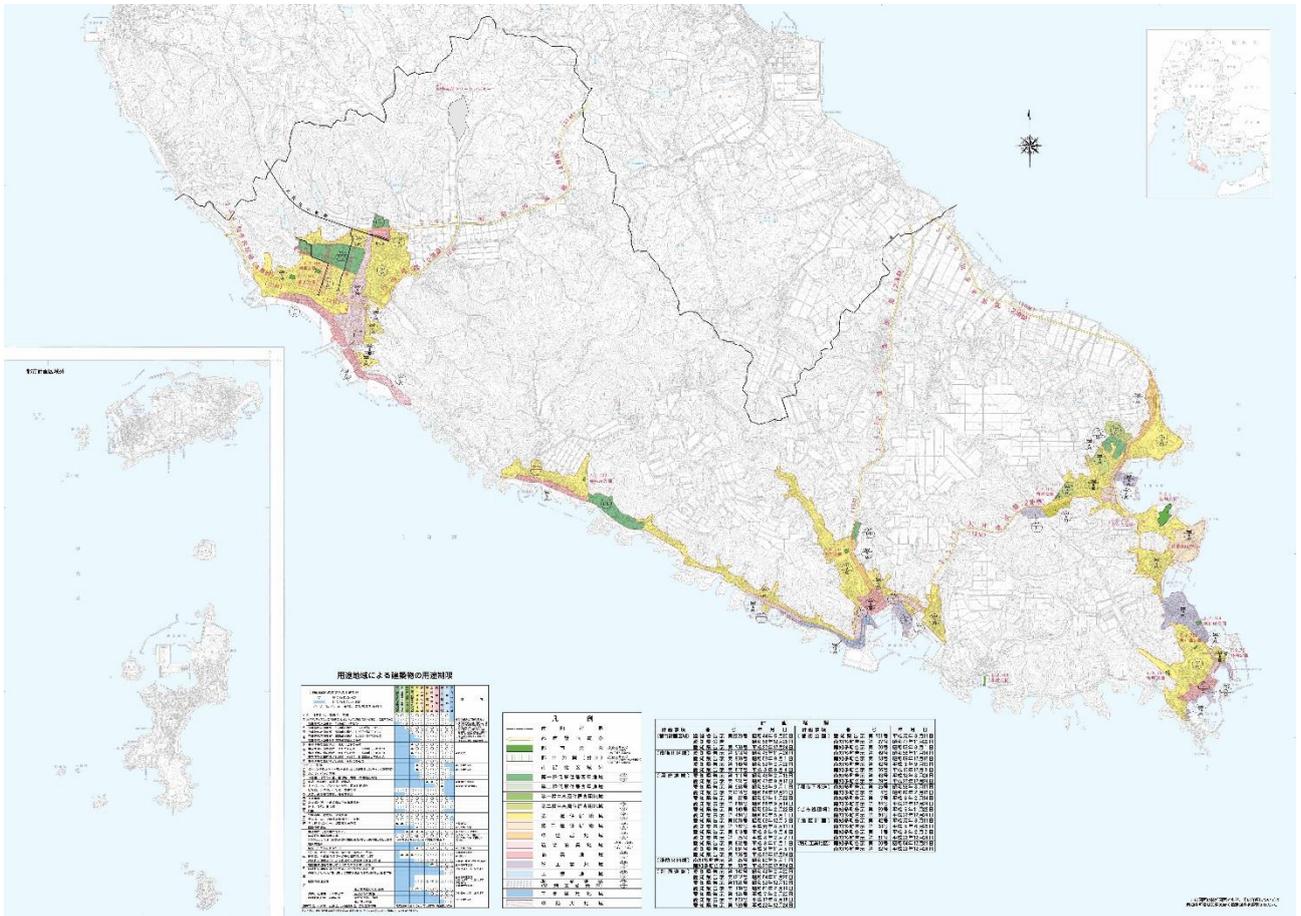
○町内の若者が暮らしやすい環境を整えて転出者の抑制を図ります。
○南知多町ならではの暮らし方をPRしつつ、空き家等の利活用、就職情報の提供、移住希望者との交流などにより、移住者の増加を図ります。
○これにより社会移動数を実質0人にします。



(3) 市街地状況

南知多町の市街地は、国道 247 号沿いの臨海部を中心に形成されています。

■南知多都市計画用途地域図

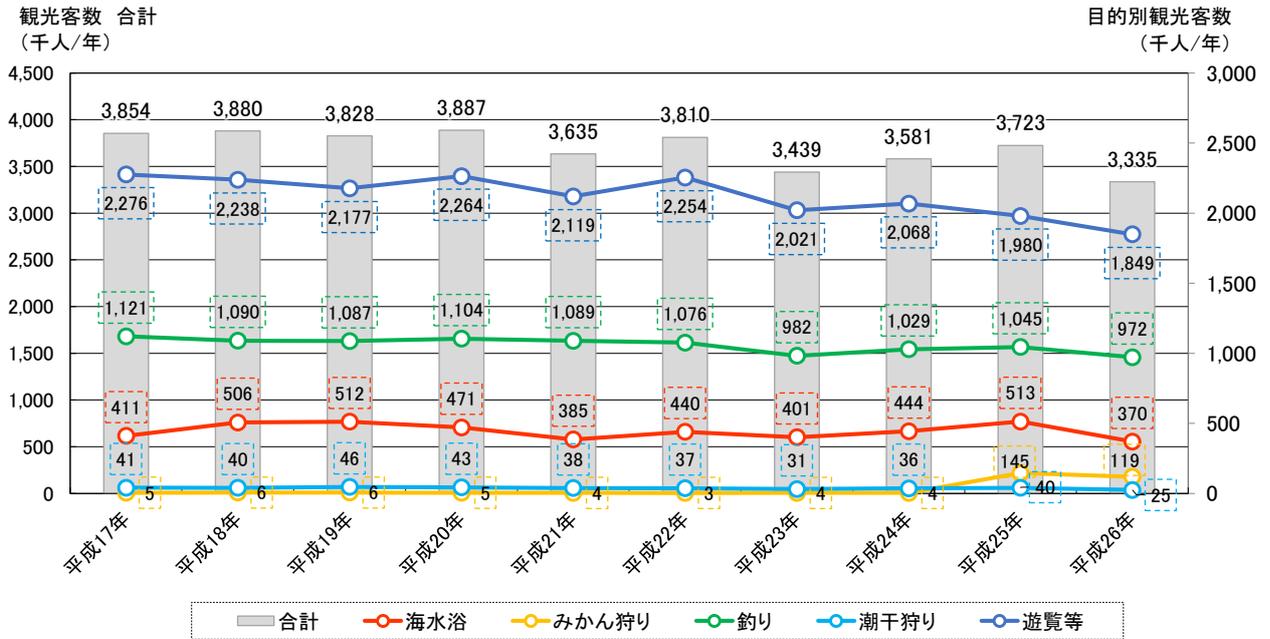


出典：南知多都市計画区域 南知多都市計画図

(4) 観光客の現況

南知多町の年間の観光客数は、平成 26 年が約 330 万人であり、近年横ばいから微減傾向が続いています。観光目的別でも、全てにおいてほぼ横ばいですが、平成 17 年と比べると、遊覧等の減少が目立ちます。地区別に見ると、平成 25 年の観光客数は、師崎地区、内海地区、豊浜地区の順で多くなっています。

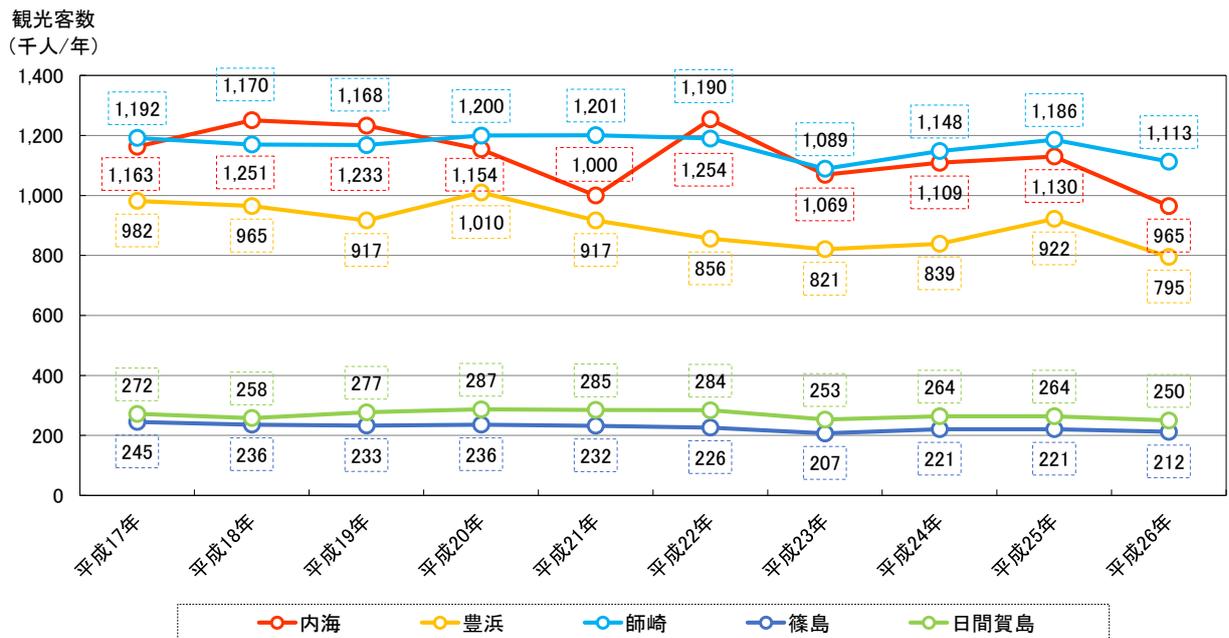
■ 目的別観光客数の推移



※ 「みかん狩り」は、平成 25 年より「みかん・いちご狩り」の集計に変更

出典：南知多町資料

■ 地区別観光客数の推移



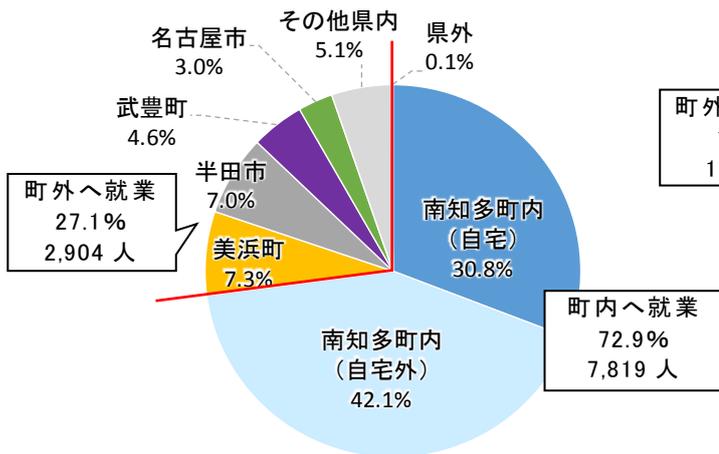
出典：南知多町資料

(5) 通勤通学状況

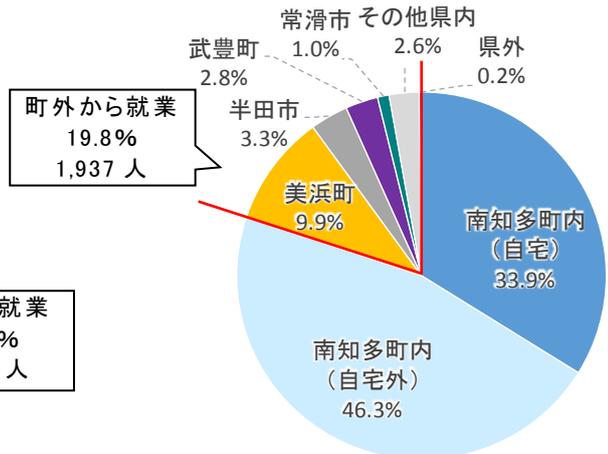
1) 通勤状況

町民の通勤は、全体の 72.9%が町内で就業し、27.1%が町外で就業しています。町外での就業先は、美浜町が 7.3%と一番高く、次いで半田市や武豊町といった近郊の市町の割合が高くなっています。南知多町に流入している通勤者は、美浜町からが 9.9%と一番高く、次いで半田市や武豊町が高くなっています。15 歳以上の就業者は、町内および美浜町、半田市、武豊町間の移動が多くなっています。

■町民の通勤先(15歳以上就業者)



■南知多町への通勤状況(15歳以上就業者)

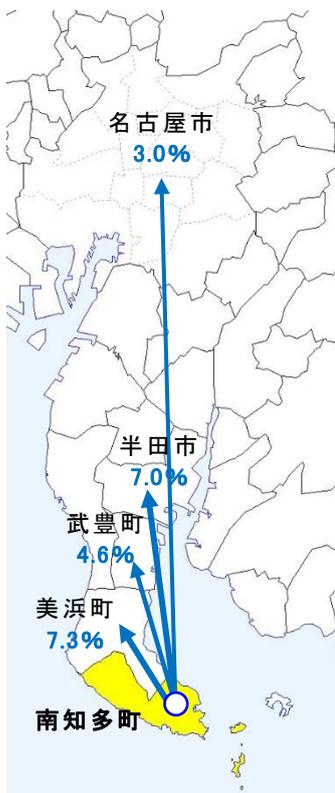


15歳以上就業者	人数(人)	割合(%)
南知多町内(自宅)	3,303	30.8%
南知多町内(自宅外)	4,516	42.1%
美浜町	778	7.3%
半田市	747	7.0%
武豊町	491	4.6%
名古屋市	321	3.0%
その他県内	552	5.1%
県外	15	0.1%
合計	10,723	100.0%

※従業地・通学地「不詳」を除く

15歳以上就業者	人数(人)	割合(%)
南知多町内(自宅)	3,303	33.9%
南知多町内(自宅外)	4,516	46.3%
美浜町	962	9.9%
半田市	324	3.3%
武豊町	278	2.8%
常滑市	99	1.0%
その他県内	258	2.6%
県外	16	0.2%
合計	9,756	100.0%

※従業地・通学地「不詳」を除く



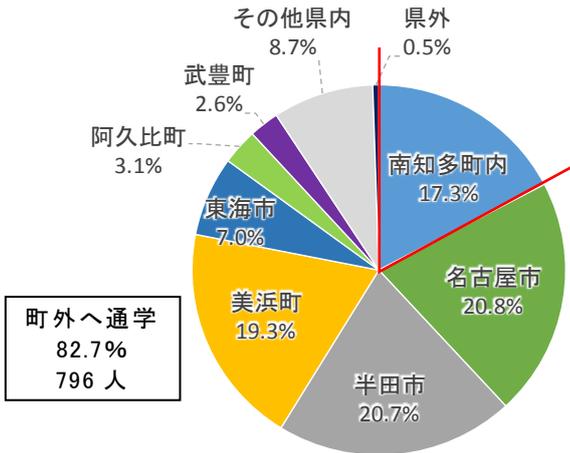
出典：
平成 22 年
国勢調査

2) 15歳以上の通学状況

町内に居住している15歳以上の学生の通学先は、町内が全体の17.3%、町外が82.7%であり、名古屋市が20.8%と一番高く、次いで半田市20.7%、美浜町19.3%となっています。

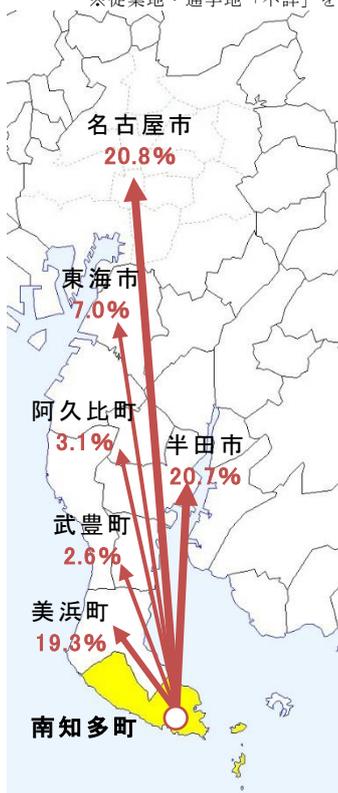
南知多町への15歳以上の通学状況は、全体の43.7%が町内に居住している人によるもので、全体の56.3%が町外からの通学です。このうち、半田市が15.7%、美浜町が12.0%、武豊町が9.4%となっており、近郊の市町からの通学が多くなっています。

■ 町民の通学先 (15歳以上通学者)

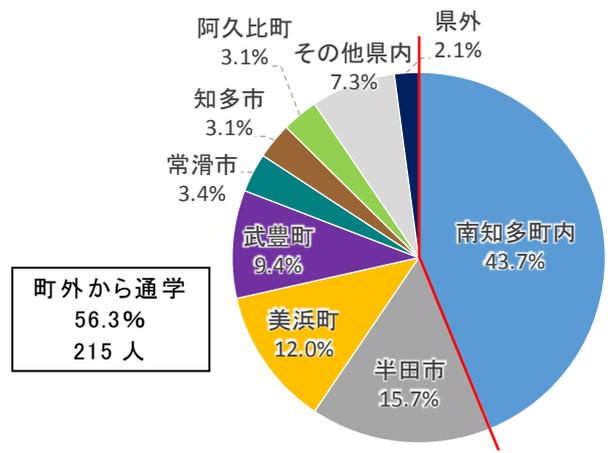


15歳以上通学者	人数(人)	割合(%)
南知多町内	167	17.3%
名古屋市	200	20.8%
半田市	199	20.7%
美浜町	186	19.3%
東海市	67	7.0%
阿久比町	30	3.1%
武豊町	25	2.6%
その他県内	84	8.7%
県外	5	0.5%
合計	963	100.0%

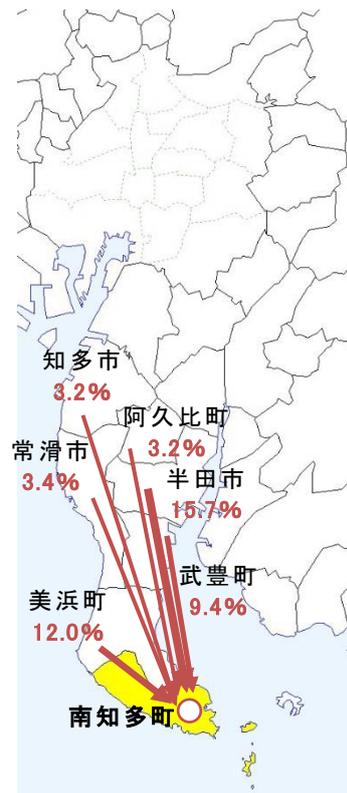
※従業地・通学地「不詳」を除く



■ 南知多町への通学状況 (15歳以上通学者)



15歳以上通学者	人数(人)	割合(%)
南知多町内	167	43.7%
半田市	60	15.7%
美浜町	46	12.0%
武豊町	36	9.4%
常滑市	13	3.4%
知多市	12	3.2%
阿久比町	12	3.2%
その他県内	28	7.3%
県外	8	2.1%
合計	382	100.0%



出典：
平成22年
国勢調査

1-2 公共交通の現況

町内には、鉄道1路線、バス3路線（路線バス1路線、コミュニティバス「海っ子バス」2路線）、海上交通（船舶）が運行しています。

■南知多町の公共交通

平成 27 年 10 月 1 日 現在



(1) 鉄道

南知多町の鉄道は、町の北西部の内海地区まで名古屋鉄道知多新線が通り、内海駅が終点になっています。内海駅へは、名鉄名古屋駅から約 60 分で連絡しています。また、隣接している美浜町内に名鉄河和駅があります。

1) 内海駅

内海駅での運行本数は、平日上下 112 本/日、土・休日上下 109 本/日です。

1日の平均乗車人数は、平成 26 年度で 734 人/日であり、年々減少傾向にあります。

■内海駅の運行本数

内海駅	平日運行本数	
	発(上り)	着
	55	57
	112	
	土・休日運行本数	
	発(上り)	着
55	54	
109		

平成 23 年 12 月改正

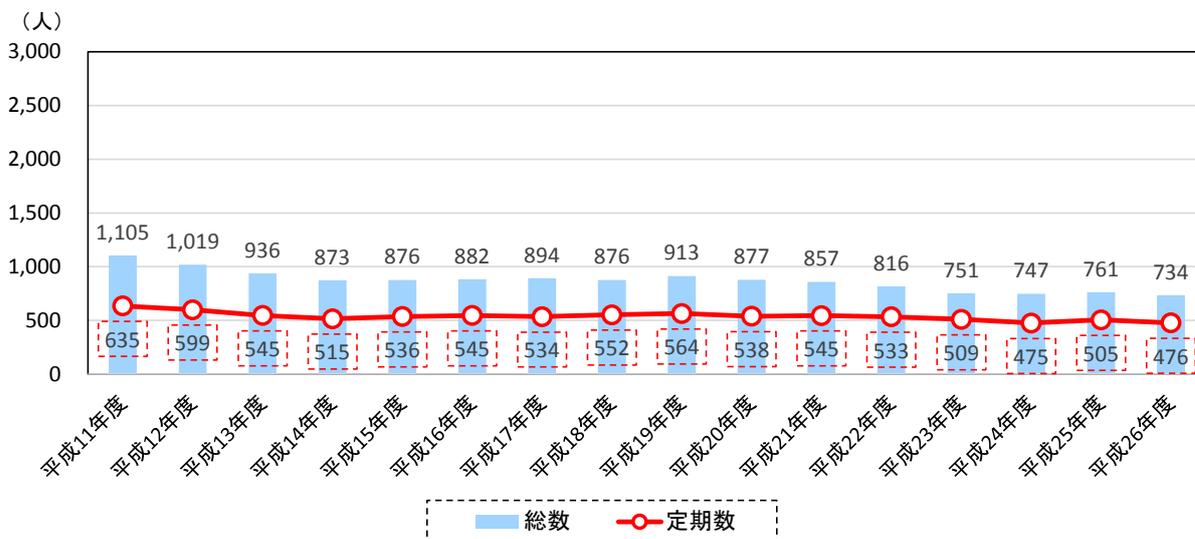
出典：名古屋鉄道ホームページ

■乗車人数の推移

年度	内海駅			
	乗車人数		1日当たり乗車人数	
	総数	定期数	総数	定期数
平成11年度	403,471	231,600	1,105	635
平成12年度	372,842	219,180	1,019	599
平成13年度	341,777	199,050	936	545
平成14年度	318,590	187,950	873	515
平成15年度	319,818	195,480	876	536
平成16年度	322,662	199,470	882	545
平成17年度	326,169	195,090	894	534
平成18年度	319,606	201,540	876	552
平成19年度	333,146	205,710	913	564
平成20年度	321,139	196,770	877	538
平成21年度	312,863	198,810	857	545
平成22年度	297,863	194,520	816	533
平成23年度	274,047	185,940	751	509
平成24年度	272,589	173,250	747	475
平成25年度	277,820	184,170	761	505
平成26年度	268,088	173,880	734	476

出典：愛知県統計年鑑及び名古屋鉄道(株)

■内海駅 1日平均乗車人数の推移



出典：愛知県統計年鑑

2) 河和駅

河和駅での運行本数は、平日上下 117 本/日、土・休日上下 115 本/日です。

1日の平均乗車人数は、平成 26 年度で 2,238 人/日であり、利用者数の推移はほぼ横ばいか微減です。

■河和駅の運行本数

河和駅	平日運行本数	
	発(上り)	着
	59	58
	117	
	土・休日運行本数	
	発(上り)	着
57	58	
115		

平成 23 年 12 月改正

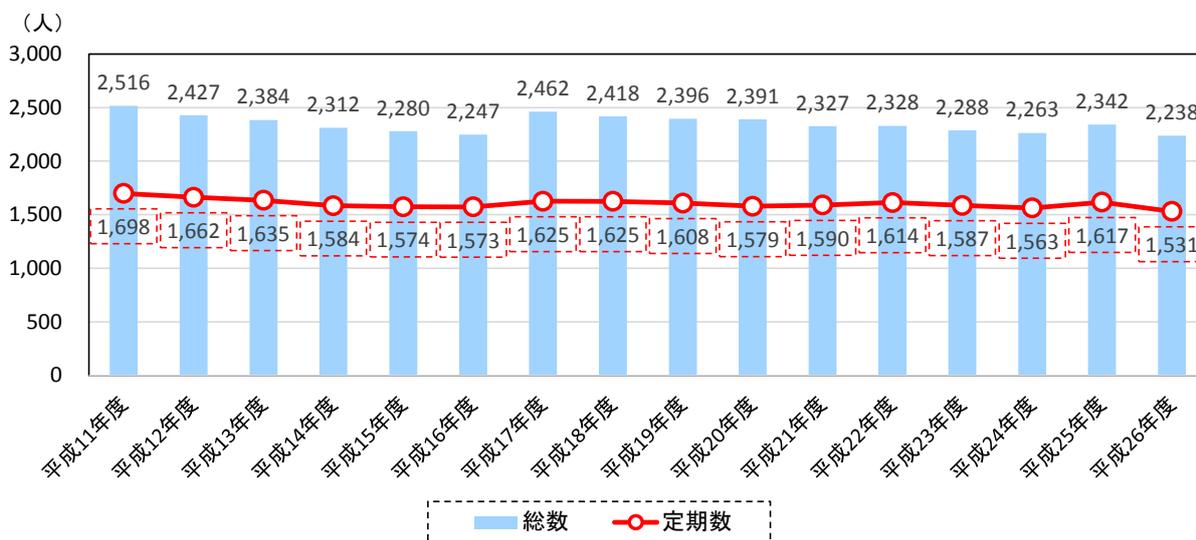
出典:名古屋鉄道ホームページ

■乗車人数の推移

年度	河和駅			
	乗車人数		1日当たり乗車人数	
	総数	定期数	総数	定期数
平成11年度	918,158	619,830	2,516	1,698
平成12年度	888,307	608,430	2,427	1,662
平成13年度	870,264	596,790	2,384	1,635
平成14年度	843,867	578,190	2,312	1,584
平成15年度	832,249	574,590	2,280	1,574
平成16年度	822,353	575,640	2,247	1,573
平成17年度	898,738	593,220	2,462	1,625
平成18年度	882,466	593,010	2,418	1,625
平成19年度	874,538	587,040	2,396	1,608
平成20年度	874,998	577,800	2,391	1,579
平成21年度	849,537	580,470	2,327	1,590
平成22年度	849,659	589,140	2,328	1,614
平成23年度	835,234	579,150	2,288	1,587
平成24年度	825,818	570,630	2,263	1,563
平成25年度	854,888	590,340	2,342	1,617
平成26年度	817,026	558,870	2,238	1,531

出典:愛知県統計年鑑及び名古屋鉄道(株)

■河和駅 1日平均乗車人数の推移



出典:愛知県統計年鑑

(2) バス

1) 変遷

南知多町では、モータリゼーションの進展や少子高齢化の影響などによって路線バスの利用者が減少し、全ての路線が不採算路線のため、バス事業者から平成 21 年 10 月 1 日より豊浜線の廃止申し出がありました。町民の重要な交通手段であるバス路線を維持するとともに、本町への定住促進を図り、誰もが安心して暮らし続けられる生活環境を維持するため、公共交通の再編を行うこととしました。

平成 22 年 3 月に「南知多町地域公共交通総合連携計画」を策定し、平成 22 年 10 月より「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用して、路線バス豊浜線と西海岸線を町が運営するコミュニティバス「海っ子バス」として実証運行を開始しました。

海っ子バスの実証運行にあたっては、知多バスが運行する師崎線、内海線を含めて、ゾーン運賃制度を適用し、利用者の運賃負担の軽減を図るとともに、名古屋鉄道とバス間の乗り継ぎに配慮したダイヤに変更する等、利便性の向上を図りました。

これにより、海っ子バス利用者数は、運行前と比較して豊浜線は増加し、運行便数が少なく通勤・通学利用できない西海岸線では減少しその後横ばいとなりました。

このため、平成 25 年 10 月から西海岸線の運行本数を 6 往復から 16 往復とし、運行時間帯を午後 6 時台までであったものを午後 9 時台まで延長して、通勤・通学に対応できる路線に変更しました。あわせて、豊浜線についてはルートの変更、最終便の時刻延長、通学時間帯のダイヤ変更を実施しました。

平成 26 年 7 月には、知多乗合(株)から平成 27 年 3 月をもって内海線廃止の要望が提出され、その後の協議により平成 27 年 9 月まで運行期間を延長し、同年 10 月より海っ子バス西海岸線の系統として本町が運行することになりました。

■バス運行の変遷

年度	概要
—	知多バス《師崎線、内海線、西海岸線、豊浜線》が運行
平成 22 年度	平成 22 年 9 月 30 日 知多バス《西海岸線、豊浜線》が廃止 平成 22 年 10 月 1 日 海っ子バス《西海岸線、豊浜線》実証運行開始
平成 23 年度	—
平成 24 年度	—
平成 25 年度	平成 25 年 10 月 1 日 海っ子バス《西海岸線、豊浜線》本格運行開始
平成 26 年度	—
平成 27 年度	平成 27 年 9 月 30 日 知多バス《内海線》が廃止 平成 27 年 10 月 1 日 《内海線》を海っ子バス《西海岸線》の系統として運行開始

■コミュニティバスの変遷（路線図）





2) 路線バス

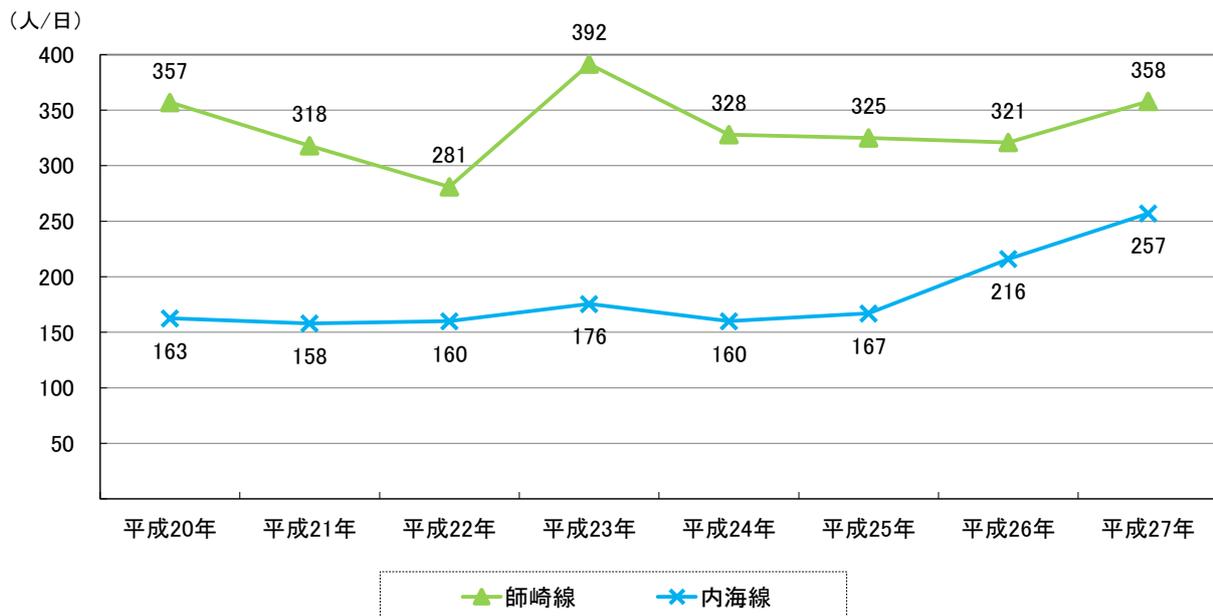
南知多町の路線バスは、知多乗合(株)が、名古屋鉄道河和線河和駅～師崎港間を知多バス師崎線として運行しています。バスの運行本数は、平日 15.5 往復/日 (土休日 13.5 往復/日) です。利用者数は、平成 22 年まで減少していましたが、平成 22 年 10 月に海っ子バスの運行と合わせてゾーン運賃制とし、運賃の低廉化を図ったことから、平成 23 年には利用者が増加し、その後は横ばいでしたが、平成 27 年にはやや増加しています。知多バス内海線 (平成 27 年 9 月廃止) の利用者数は、横ばいの後、平成 26 年以降は増加しました。

■ 路線バスの運行概要

路線	知多バス 師崎線		知多バス 内海線【参考】	
始点	河和駅	師崎港	河和駅	内海駅 (内海高校前)
経由	矢梨・山田・大井		中河和	
終点	師崎港	河和駅	内海駅 (内海高校前)	河和駅
平日	15 本	16 本	3 本 内海高校の登校日 のみ運行	4 本 内海高校の登校日 のみ運行
運行時間 (始発～最終運行)	6:58～21:04	6:05～20:38	7:32～8:35	15:52～18:05
土休日	14 本	13 本	—	—
運行時間 (始発～最終運行)	7:10～21:04	7:10～19:38	—	—

師崎線:平成 27 年 11 月 28 日改正、内海線:平成 27 年 4 月 1 日改正(平成 27 年 9 月 30 日廃止)
出典:知多乗合(株)ホームページ

■ 1日当たりの平均乗車人数の推移 (平日 上り・下り合計)



資料:知多乗合(株) (調査:各年6月)

3) 海っ子バス

① 運行概要

南知多町のコミュニティバス「海っ子バス」は、名古屋鉄道知多新線内海駅および河和線河和駅を起点とし、師崎港までの2路線を運行しています。

西海岸線はA～Cの3系統があり、運行本数はA系統8往復/日、B系統8往復/日、C系統4往復/日（内海高校の登校日のみ運行）です。豊浜線はA・Bの2系統があり、A系統6.5往復/日、B系統9.5往復/日を運行しています。

■ コミュニティバスの運行概要

海っ子バス 西海岸線						
系統	A 系統		B 系統		C 系統	
始点	内海駅	師崎港	河和駅	師崎港	河和駅	内海高校前
経由	岩屋寺		内海駅 知多厚生病院前 豊浜港・魚ひろば		中河和	
終点	師崎港	内海駅	師崎港	河和駅	内海高校前	河和駅
平日	8本	8本	8本	8本	4本 内海高校の登校日のみ運行	4本 内海高校の登校日のみ運行
運行時間 (始発～最終運行)	6:35～8:41 17:15～21:49	6:00～7:44 16:30～21:04	8:50～16:49	7:50～15:44	7:13～8:30	16:00～18:08
土休日	8本	8本	8本	8本	—	—
運行時間 (始発～最終運行)	6:35～8:41 17:15～21:49	6:00～7:44 16:30～21:04	8:50～16:49	7:50～15:44	—	—

※西海岸線A系統とB系統の平日・土休日のダイヤは同じ（平成25年10月1日改正）

※西海岸線C系統（平成27年10月1日運行開始）は、内海高校の登校日のみ運行

海っ子バス 豊浜線				
系統	A 系統		B 系統	
始点	河和駅	師崎港	河和駅	師崎港
経由	北河和・中河和		知多厚生病院前・豊浜港・魚ひろば	
終点	師崎港	河和駅	師崎港	河和駅
平日	7本	6本	9本	10本
運行時間 (始発～最終運行)	6:25～8:10 17:38～22:13	5:45～7:44 18:15～20:51	8:00～17:21	8:30～18:25
土休日	7本	6本	9本	10本
運行時間 (始発～最終運行)	6:25～8:10 17:38～22:13	5:45～7:44 18:15～20:51	8:00～17:21	8:30～18:25

※豊浜線A系統とB系統の平日・土休日のダイヤは同じ（平成25年10月1日改正）

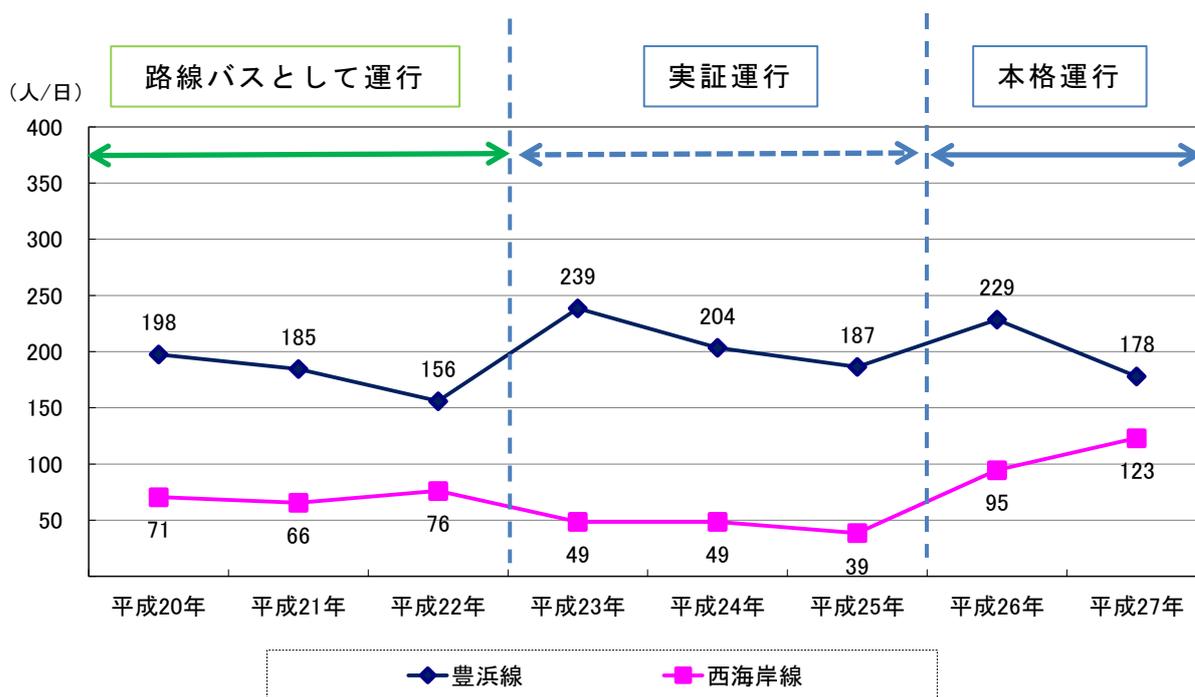
②利用者数の推移（各年のOD調査による）

平成27年の1日当たりの利用者数は、豊浜線が178人、西海岸線が123人です。

豊浜線は、平成22年10月にゾーン運賃制としたことから利用者が増加し、その後はやや減少していましたが、平成25年10月に運行時間帯の延長、高校生の通学に合わせたダイヤ変更等を行ったことにより、平成26年には利用者が増加しましたが、平成27年には減少しました。

西海岸線は、平成25年10月に運行本数を6往復から16往復とし、運行時間帯を18時から21時までに延長、路線を豊浜魚ひろばから師崎港まで延伸したことから、通勤・通学利用等が増加し、平成26年以降は利用者が増加しました。

■ 1日当たりの平均乗車人数の推移（平日 上り・下り合計）



資料：南知多町（調査：各年6月）

(3) 海上交通（船舶）

南知多町の海上交通は、名鉄海上観光船(株)が師崎港を起点として篠島・日間賀島へ定期高速船(1日36往復、ただし12月～2月は35往復)およびカーフェリー(篠島6往復、日間賀島5往復)を運航しています。また、河和港からは、篠島・日間賀島および伊良湖岬までの高速船(1日10便及び11便)を運航しています。

平成26年の利用者数は、師崎港が1日当たり2,236人、河和港が1日当たり580人であり、師崎港が約3.9倍の利用者数となっています。

名鉄海上観光船(株)の他に海上タクシー業者が数社あり、ともに島部の生活の足と観光を支える役割を併せ持っています。

■海上交通の運航概要

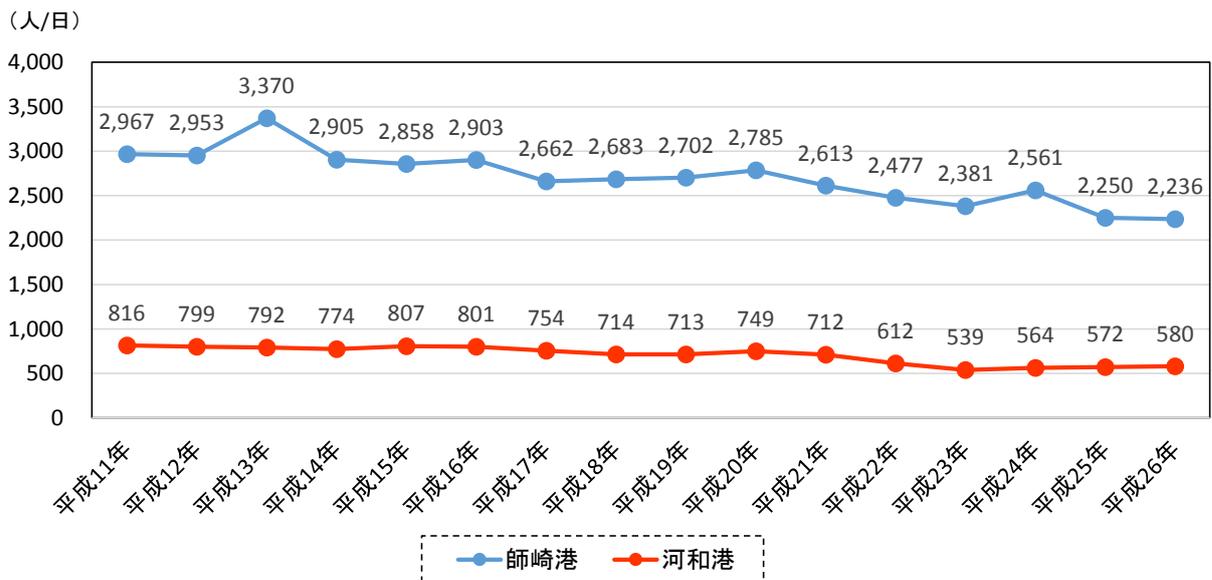
種類	区間	運航便数	運航時間(港発)	大人1人片道運賃
定期高速船	師崎港～篠島・日間賀島	36往復 ※	6:25～19:10 ※	700円(往復1,340円)
	河和港～篠島・日間賀島～伊良湖	11便	7:35～18:20	河和港～篠島・日間賀島 1,400円 (往復2,690円)
	伊良湖～篠島・日間賀島～河和港	10便	6:45～17:40	
フェリー	師崎港～篠島	6往復	8:25～17:25	600円(旅客のみ)
	師崎港～日間賀島(北港)	5往復	9:15～16:40	600円(旅客のみ)

※12～2月は35往復(運航時間7:00～19:10)

平成26年10月1日改正

出典：名鉄海上観光船(株)ホームページ

■師崎港および河和港の1日当たりの利用者数の推移



出典：愛知県統計年鑑及び名鉄海上観光船(株)

■各港の1日当たりの利用者数

年度	1日当たり利用者数					
	師崎港			河和港		
	乗込人員	上陸人員	総数	乗込人員	上陸人員	総数
平成11年	1,458	1,509	2,967	406	410	816
平成12年	1,445	1,508	2,953	400	399	799
平成13年	1,656	1,714	3,370	394	398	792
平成14年	1,434	1,471	2,905	386	388	774
平成15年	1,408	1,450	2,858	406	401	807
平成16年	1,451	1,451	2,903	403	399	801
平成17年	1,354	1,309	2,662	377	378	754
平成18年	1,370	1,313	2,683	355	359	714
平成19年	1,374	1,328	2,702	357	355	713
平成20年	1,418	1,367	2,785	376	373	749
平成21年	1,329	1,284	2,613	357	355	712
平成22年	1,245	1,232	2,477	307	304	612
平成23年	1,210	1,171	2,381	269	270	539
平成24年	1,302	1,258	2,561	282	282	564
平成25年	1,136	1,114	2,250	286	286	572
平成26年	1,129	1,107	2,236	289	291	580

出典：愛知県統計年鑑及び名鉄海上観光船(株)

1-3 課題

南知多町の概況及び公共交通の現況から見出した課題は次のとおりです。

(1) 人口減対策としての公共交通の充実

南知多町の人口は減少傾向にあり、現状の人口は第6次南知多町総合計画での人口予測よりも下回っています。今後も人口減少傾向は続きますが、人口減少に歯止めをかけるためには、町民の定住・町外からの移住を促進することが重要です。そのためには、公共交通サービスを充実することにより、誰もが移動できる環境を整備することが必要です。

(2) 通勤・通学手段としての公共交通の確保

町外への通勤は町内就業者の27.1%、町外への通学は82.7%（平成22年国勢調査）となっており、通勤に加えて高校生の通学手段としての公共交通利用が多いのが特徴です。このため本町では、公共交通による通勤・通学手段を確保することが重要になります。

(3) 観光振興の観点からの取り組み

南知多町の年間観光客数は、近年微減傾向となっています。観光は、本町の主要な産業の一つであり、その活性化が重要な課題となっています。

公共交通は、町民の移動を確保する役割のほかに、観光客の移動のために必要な交通手段です。このため、観光施策との連携によって、観光客にもわかりやすく、使いやすい公共交通とする必要があります。

(4) 公共交通サービスの維持・向上

公共交通の利用者は、鉄道は微減、知多バス・海っ子バス西海岸線は微増ですが、海っ子バス豊浜線は増減を繰り返しています。また、海上交通は減少傾向です。

公共交通は、町民や観光客の重要な交通手段のため、利用者数の維持・増加を図り、運行サービスを維持・向上していくことが必要です。

2 地域公共交通総合連携計画の実施状況と課題

2-1 連携計画の実施状況と課題

(1) 基本方針と目標

連携計画では、次の基本理念に基づいて基本方針と目標を設定して事業を実施してきました。

■連携計画における基本理念と方針・目標

【基本理念】

町民が安心して暮らすことのできる公共交通を、町民と行政の協働の取り組みによって実現する

【基本方針】

方針1
町民の日常生活交通の確保を第一の目標とし、合わせて交流促進の観点から観光交通との融合にも配慮した公共交通の維持・活性化を図る。

方針2
地域のニーズにあった利便性の高い公共交通サービスを確保する。

方針3
地域のまちづくりと一体となって、地域ぐるみで公共交通を守り、育てる。

【基本目標】

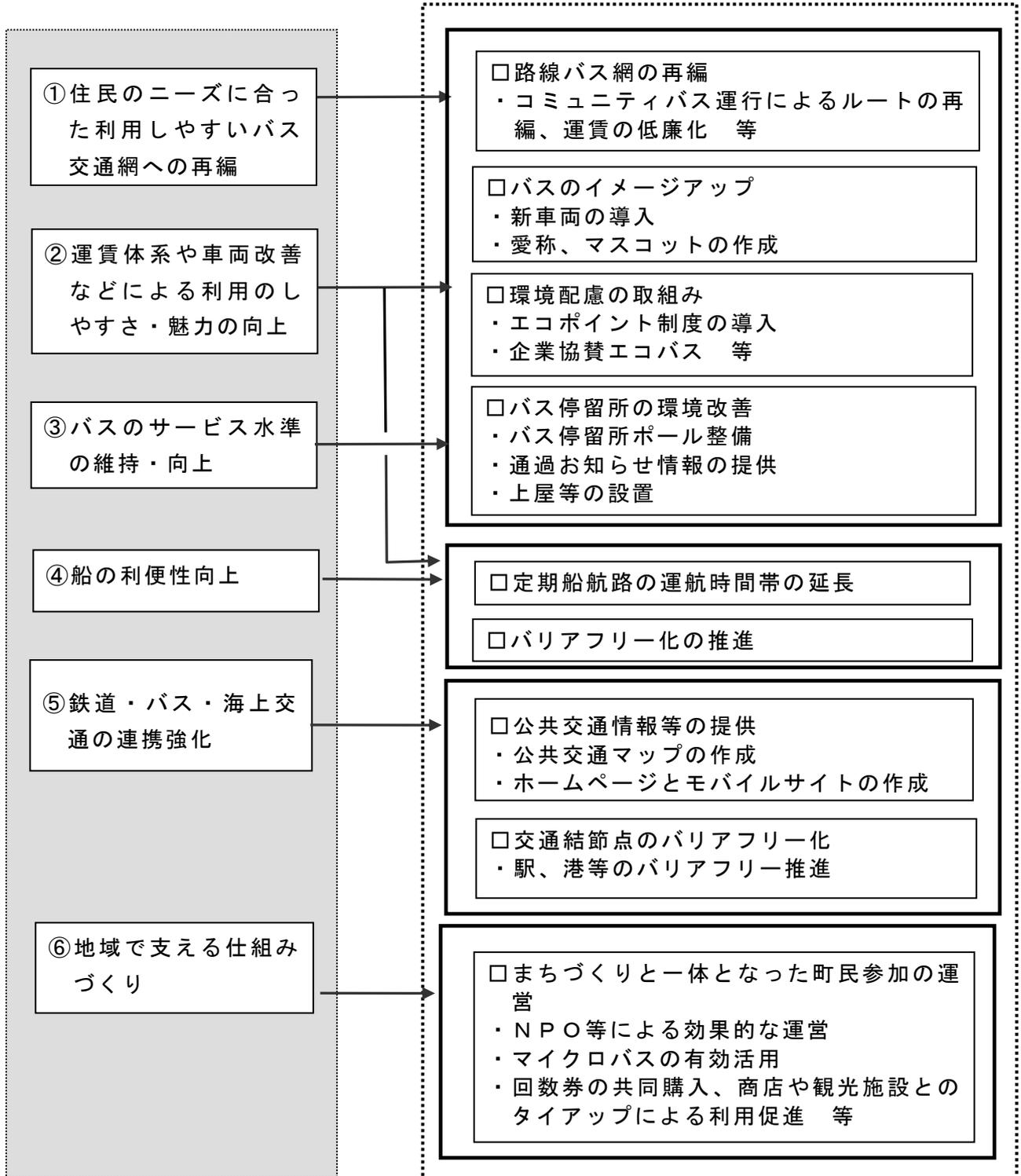
①住民のニーズに合った利用しやすいバス交通網への再編
②運賃体系や車両改善などによる利用のしやすさ・魅力の向上

③バスのサービス水準の維持・向上
④船の利便性向上
⑤鉄道・バス・海上交通の連携強化

⑥地域で支える仕組みづくり

■基本目標

■事業計画



(2) 事業の実施状況

連携計画に位置づけられた事業のうち短期事業（H22年度～H24年度）については、概ね計画通りに事業を実施してきました。このうち、海上交通の航路の時間延長については、実証運航を行った結果、多くの利用者がありました。事業収支が合わないため、休止しています。中長期事業（H25年度～H32年度）については、今後実施する予定であった事業のため、まだ未実施の事業が複数あります。バス網の充実、バス停留所の環境改善、環境配慮の取組み、バリアフリー化の推進が残されています。

■連携計画における事業計画と実施状況

事業項目	実施主体	連携計画						実施状況 ○:実施済み ●:未実施あるいは課題あり	
		短期			中長期				
		H22	H23	H24	H25	～	H32		
バス交通に関する事業	短期事業	①路線バス網の再編(実証運行)	コミュニティバスの運行	南知多町(バス事業者に委託)	■	■	■	本運行	○H22.10実証運行実施(豊浜線・西海岸線の町運営、ルート変更等) ○H25.10本運行実施(ルート変更、便数増等)
			既存バス路線のルート変更、運賃改正等	知多乗合(株)	■	■	■		○海っ子バスと運賃統一を実施
		②バスのイメージアップ	a) 新型車両の導入	南知多町	■	■	■		○豊浜線、西海岸線に新型バス導入
			b) 愛称、マスコットの作成	南知多町	■	■	■		○海っ子バスの愛称、車両デザインの公募実施
		③バス停留所ポール整備	南知多町	■	■	■		○きずなの会の協力で、一部バス停の表示デザイン改良	
	④通過お知らせ情報の提供(簡易型バスロケーションシステムの導入)	南知多町			■			●未実施(今後検討)	
	中長期事業	①バス網の充実	南知多町				■		●未実施(今後検討)
		②バス停留所の環境改善	南知多町交通事業者				■		○きずなの会の協力で、主要なバス停にベンチ設置 ●今後、主要なバス停に上屋設置等、待合環境のさらなる改善を検討
	海上交通に関する事業	短期事業	①航路の運航時間帯の延長(実証運航)	交通事業者		■	■	本運航	●H23年度に実証運航を実施したが、収支が合わないので継続に至らず(今後検討)
	利用促進に関する事業	短期事業	①公共交通情報の提供	a) 公共交通マップ等の作成	南知多町交通事業者	■	■	■	
b) まちづくりイベント・勉強会等の開催				南知多町	■	■	■		○きずなの会の協力で「小学生の先っぽツアー」「スタンプラリー」「知多娘参加のバス乗車イベント」等を実施
中長期事業		①まちづくりと一体となった町民参加型の運営	南知多町				■		○まちづくり協議会との連携でイベント等を実施 ○年2回のタウンミーティングにより、住民の意見を反映した運営を実施
		②環境配慮の取組みの構築	南知多町				■		●バス乗車ごとにポイントを付与するエコポイント制度等については未実施(今後検討)
		③バリアフリー化の推進	交通事業者 南知多町				■		●交通結節点となる駅などのバリアフリー化は未実施(今後検討)

(3) サービス水準の達成状況

連携計画策定時に設定したサービス水準（運行ルート、運行本数、運行時間帯）に対して、鉄道、バスについては概ね達成していますが、海上交通については、増便の目標に対して現状維持となっています。

連携計画で設定したサービス水準		現況での達成状況
運行ルート (バス)	<ul style="list-style-type: none"> 河和駅あるいは内海駅、知多厚生病院あるいは南知多病院のどちらかに乗り換えなしで運行。 	<ul style="list-style-type: none"> 海っ子バス、知多バスともに達成
	<ul style="list-style-type: none"> 内海高校へのアクセスを確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 知多バス内海線の廃止に伴い、平成 27 年 10 月から海っ子バスが代替運行
(船)	<ul style="list-style-type: none"> 現行航路を維持。 	<ul style="list-style-type: none"> 維持
運行本数 (バス)	<ul style="list-style-type: none"> 増便等により船とバスの接続、町内移動、駅までの移動の利便性向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 西海岸線を増便（6 往復から 16 往復） 豊浜線の運行時間を 1 時間延長（20 時台から 21 時台まで）
(船)		<ul style="list-style-type: none"> 運航時間帯の延長（実証運航）を実施したが、収支が合わないので継続に至らず
運行時間帯	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学の足を確保。6 時台～20 時台程度までの移動を可能とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄道 <ul style="list-style-type: none"> 内海駅・河和駅発 5 時台～22 時台 ■ バス <ul style="list-style-type: none"> 師崎港あるいは河和駅発 豊浜線：5 時台～21 時台 西海岸線：6 時台～21 時台 師崎線：6 時台～20 時台 ■ 高速船 <ul style="list-style-type: none"> 両島あるいは師崎港発 6 時台～19 時台

(4) 目標の達成状況

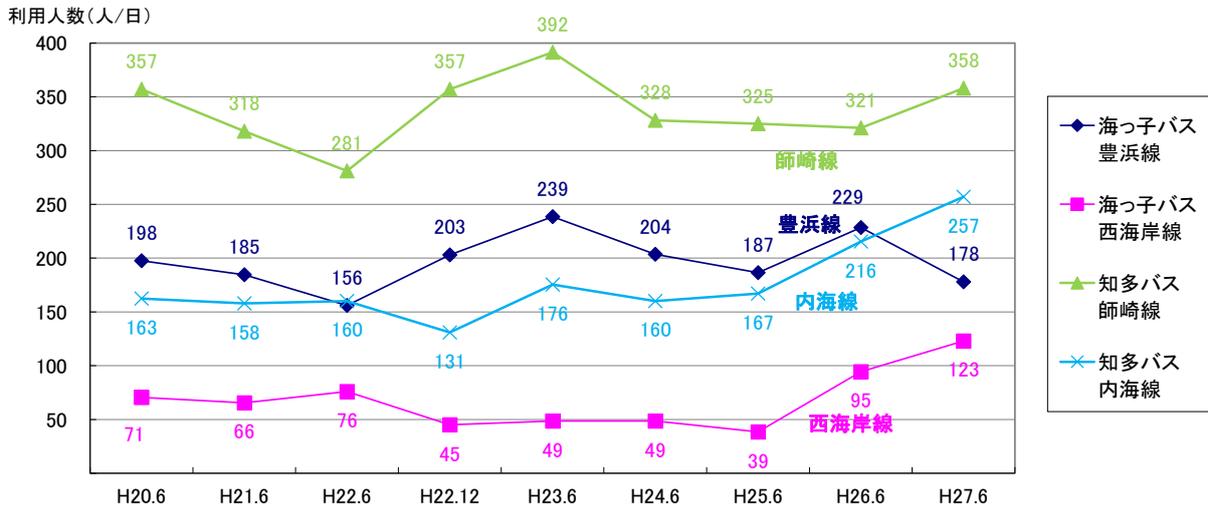
①海っ子バス利用者数の増加（連携計画では利用率で倍増を目標）

連携計画策定後のバス路線再編（平成 22 年 10 月）後、海っ子バス豊浜線の利用者数は平成 23 年にかけて増加し、その後平成 25 年にかけて一時的に減少しました。平成 26 年度にかけては、平成 25 年 10 月から本格運行に移行し、増便、路線延長を行った効果が発揮されて増加しましたが、平成 27 年には減少しています。

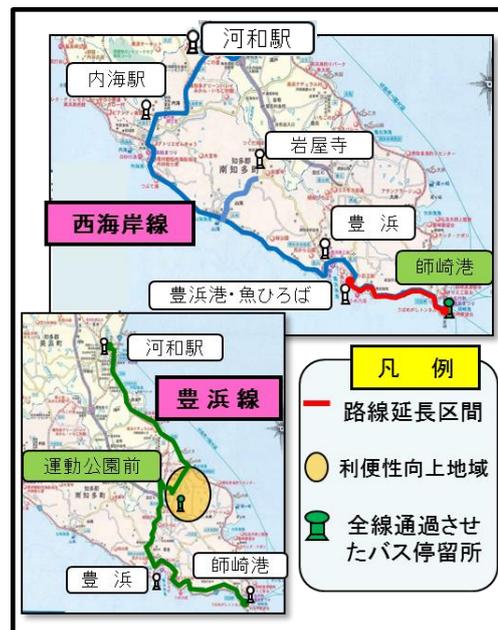
西海岸線は、再編後の運行便数が少ないため、利用者数は低迷していましたが、平成 25 年 10 月から運行便数を 16 便まで増やしたことから、利用者は増加傾向となっています。

連携計画の目標は町民の利用率を 2 倍としていましたが、連携計画策定前の平成 22 年 6 月と比較すると、豊浜線は 1.14 倍（178÷156）、西海岸線は 1.62 倍（123÷76）であり、まだまだ利用率向上が必要です。

■バス利用者数の推移（1日当たり）



■平成 25 年 10 月実施の海っ子バス再編



②交通手段がなくて困っている人の割合の削減

連携計画では、外出時に交通手段がなくて困る人の割合を削減（陸側：約 24%⇒約 10%、島側：約 45%⇒約 20%）することを目標としていました。

住民アンケート調査等で直接的には確認していないので、バス利用者への評価（平成 25 年 10 月の再編による評価）で代替して評価します。

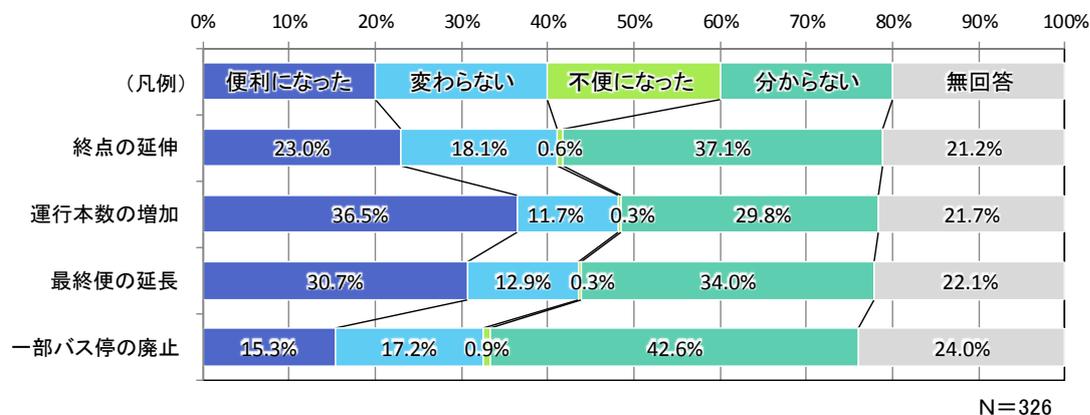
○西海岸線

- ・便利になったという意見は、運行本数の増加については約 37%、最終便の延長については約 31%、終点（師崎港）の延伸については約 23%となっており、変わらない・不便になったという人よりも多く、改善効果が見られます。
- ・一部バス停の廃止については、便利になったという人の割合が少ないことから、今後の再編時に対応を検討する必要があります。

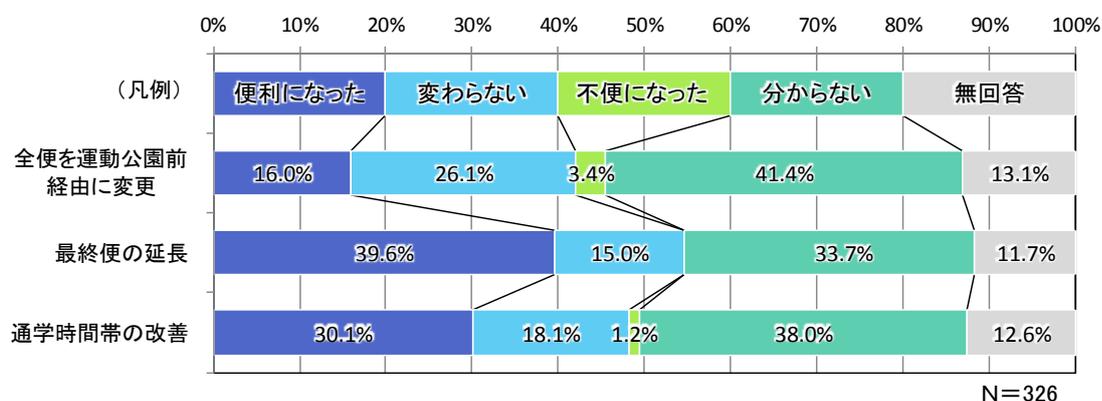
○豊浜線

- ・「便利になった」という意見は、最終便の延長については約 40%、通学時間帯の改善については約 30%であり、「変わらない・不便になった」という人よりも多く、改善効果が見られます。
- ・全便を運動公園前経路に変更したことについては、便利になったという意見は約 16%とやや低く、迂回による所要時間延長が影響しているものと思われます。

■西海岸線の利用者による評価



■豊浜線の利用者による評価



(平成 26 年 6 月の平日に実施した利用者アンケートによる)

③地域のまちづくり活動と一体となった利用促進活動を年間1回以上行う

連携計画策定前から毎年2回、5地区別にタウンミーティングを行い、住民からの意見、要望等を把握してきました。

まちづくり協議会等の住民との協働により、バス利用促進イベント、小学生のバス乗り方教室・バスツアーなどを行うとともに、住民がバス停のベンチ・上屋の設置、バス停時刻表の改良などにも協力するなど、様々な利用促進活動を実施してきています。これらの利用促進活動が利用者の増加につながったといえます。

■タウンミーティングの実施

- ・年2回、町内5地区別に実施。
- ・様々な意見を踏まえ、平成25年10月の再編につなげています。

■住民との協働による観光振興、利用促進活動の実施

- ・まちづくり協議会と連携して観光振興や利用促進に向けた取組みを行った結果、参加者から好評を得ており、観光利用増や町民の意識向上につながっています。

【タウンミーティングの実施】



【小学生のバス乗り方教室、町内のバスツアー】



【バス利用促進イベントの実施】



【SKE48とのコラボレーション】



(4) 海っ子バス、船の利用者による評価

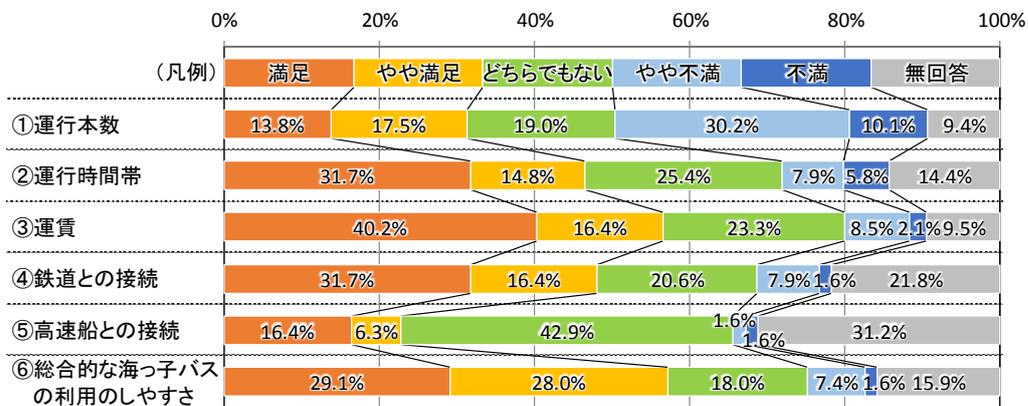
利用者へのアンケート調査（下記日程で実施）によって、海っ子バス及び航路のサービスを評価しました。

海っ子バス：平成 27 年 6 月 2 日（火）、3 日（水）、9 日（火）、10 日（水）
 船：平成 27 年 6 月 11 日（木）

①海っ子バス豊浜線

「総合的な海っ子バスの利用のしやすさ」の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は約 57%に対して、不満（不満+やや不満）は約 9%であり、満足度が高くなっています。「運賃」も同様の傾向です。「運行本数」は不満足度（「やや不満」と「不満」の合計）約 40%と高くなっています。

■バス運行についての評価《豊浜線》

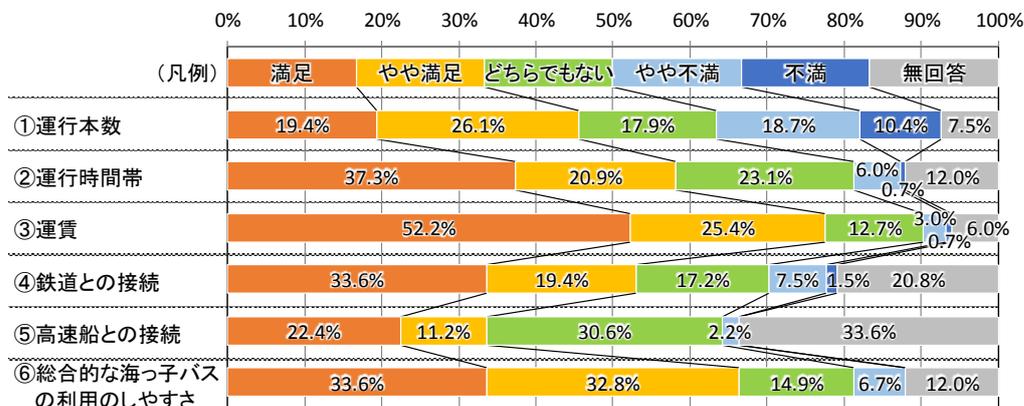


総数 = 189 人

②海っ子バス西海岸線

満足度は、「運賃」が約 78%、「総合的な海っ子バスの利用のしやすさ」が約 66%など、全項目において豊浜線よりも満足度が高くなっています。「運行本数」の不満足度は約 29%で豊浜線より低くなっており、運行本数改善の効果が表れています。

■バス運行についての評価《西海岸線》



総数 = 134 人

③師崎港からの船

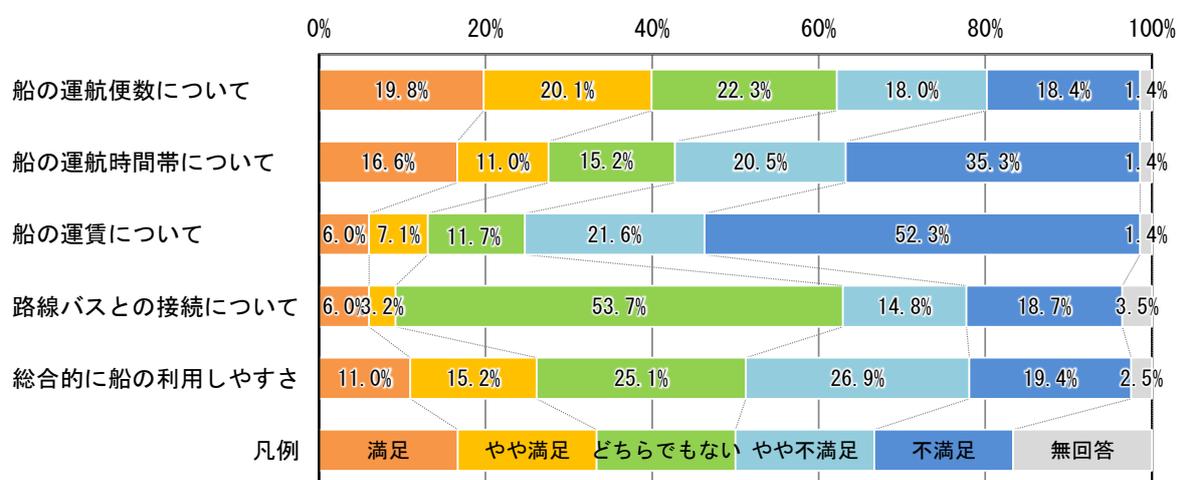
船の運航便数は約 40%が「満足」（やや満足を含む）、「不満」（やや不満を含む）も約 36%であり、意見が分かれています。

運航時間帯は、「不満」（やや不満を含む）が約 56%、運賃は「不満」（やや不満を含む）が約 74%と多くなっています。

路線バスとの接続については、「どちらでもない」が約 54%ですが、「不満」も約 34%です。

総合的な利用のしやすさは、「満足」が約 26%、「不満」が約 46%であり、不満のほうが多くなっています。

■師崎港からの船の評価



総数 = 283 人

(5) 残された課題

① バス網の充実

町内のバス網は、海っ子バス豊浜線・西海岸線（知多バス内海線は平成 27 年 10 月より海っ子バス西海岸線として運行）及び知多バス師崎線で構成されています。

海っ子バスと知多バスについては、運賃の統一、一日券・定期券・回数券の共通利用、河和駅・師崎港での海っ子バスと知多バスとの乗り継ぎダイヤ調整等、主として住民が利用しやすい環境整備を実施してきました。

今後は、バスを使った観光ルートでの PR、観光利用にも配慮した利用促進や観光資源を活用したルート変更などについても検討する必要があります。

② バス停留所の環境改善

タウンミーティング等で、上屋がないため待合環境がよくない、河和駅等での案内が不十分等の指摘があります。

行政と交通事業者が協力して、乗継が発生する河和駅、内海駅、師崎港、豊浜バス停では、バスの運行情報や乗継ダイヤ等を分かりやすく提供する必要があり、また、利用者の多いバス停では、上屋の設置を検討することも必要です。

③ 環境配慮の取組み

連携計画作成時においては、バス乗車ごとにポイントを付与するエコポイント制度の導入や、電気バス等のエコバスを企業協賛で運行するなどの事業展開を検討していました。

近年、ハイブリッド車や燃費の良い車の普及、燃料電池車の市販化など、環境に配慮した自動車が増えており、また公共交通を利用することが環境への配慮につながるなどの認識も高まっています。

このため、環境への配慮を特別の施策として実施するのではなく、公共交通の利用促進の取組みをより強化することが必要です。例えば、公共交通の利用促進を PR するときに、環境への効果を取り上げる等の取組みを実施します。

④ バリアフリー化の推進

高齢化が進む中で、バリアフリー化への対応が重要です。海っ子バスはバリアフリー対応（ノンステップ車両等）になっていますが、知多バス車両は対応が遅れており、また、高架駅である内海駅でのエレベーター等の設置が住民から強く要望されています。

バス車両のバリアフリー化を推進するとともに、師崎港・内海駅周辺の整備とあわせて、観光船・駅のバリアフリー化を交通事業者と協力して推進する必要があります。

2-2 付加すべき視点

(1) 地域公共交通網形成計画に記載すべき事項

地域公共交通活性化再生法の改正に伴って国が策定している基本方針に基づき、地域公共交通網形成計画では、次の事項を記載することになっています。

- ①まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保
- ②地域全体を見渡した総合的な公共交通ネットワークの形成
- ③地域特性に応じた多様な交通サービスの組み合わせ
- ④広域性の確保
- ⑤住民の連携を含む関係者の連携
- ⑥具体的で可能な限り数値化した目標設定

(2) 本町において新たに付加すべき視点

本町においては、鉄道、バス、海上交通の連携を重視して公共交通ネットワークを形成し、低廉で利用しやすい運行サービスを提供してきました。

主として町民向けの公共交通としては一定の水準に達していますが、少子高齢化が進行する中で、持続可能な公共交通としていくためには、まちづくりや観光戦略と一体となって、地域の活性化につながるようにすることが重要です。

また、町内外の移動において、交通手段間の乗り継ぎが発生するため、乗り継ぎにおけるバリアフリー化を推進し、利用しやすさを高めることが重要です。このため、今後は、主に次の視点を付加します。

- 町の主要産業である観光振興の観点から公共交通ネットワーク、サービスの展開を強化します。
- 交通結節点のバリアフリー化等を推進します。

3 基本方針と目標

3-1 上位計画におけるまちづくり目標の整理

(1) 第6次南知多町総合計画後期計画（平成28年度～平成32年度）における目標

基本構想におけるまちづくりの基本理念「太陽と海と緑豊かなまちづくり」に基づいて基本目標を設定しており、その中の「住みよい暮らしを支えるまちづくり」に公共交通施策が位置づけられています。

また、公共交通施策は、基本構想に掲げる将来イメージ「人と自然！みんなの汗で光るまち」を実現する上で原動力となる重点プロジェクトにも位置づけられており、今後も重点的に取り組むことになっています。

■総合計画における公共交通施策の内容

基本目標「住みよい暮らしを支えるまちづくり」

基本施策「道路・交通」

◆施策がめざす南知多町の将来の姿

町民の足となる公共交通が充実し、町民生活の利便性が図られています。

◆施策の内容【公共交通の整備】

①バス路線の充実

住民の利便性の向上と利用促進を図るため、鉄道、航路を含めた地域交通体系を強化し、地域の意見を活かしながら、気軽に移動できる持続可能なバス路線の充実を図ります。

②海上航路の強化

関係機関に対し、離島航路の定期便の増便や運行ダイヤ改正を求め、離島住民及び観光客の利便性の向上をめざします。

【現状値と目標値】

基本成果指標	現状値	目標値
	2014（平成26）年度	2020（平成32）年度
外出時に交通手段がなくて困る人の割合：陸側（%）	24	10
外出時に交通手段がなくて困る人の割合：島側（%）	45	20
海っ子バスの年間利用者数（人）	170,382	187,000

■重点プロジェクトにおける位置づけ

重点プロジェクト④	安全安心・地域課題の解決 時代にあった地域をつくり、安全安心な暮らしを守る
-----------	--

●施策方針：地域の公共交通や社会基盤の整備充実を図り、生活の利便性を向上します。

(取り組み) 生活利便性の向上 ➡ バス路線の充実

(2) 「都市計画マスタープラン」における将来の都市構造

都市構造		位置づけ等
都市軸	広域的なネットワークを形成する道路軸	町内外との広域的な連携・交流の促進に努めます。 (南知多道路・国道 247 号・(都) 知多東部線及び(都) 知多西部線・半田南知多公園線・広域農道)
	地域間のネットワークを形成する道路軸	町内各地域をネットワークさせ、住民の生活利便性の向上に努めるとともに、主要施設等へのアクセス利便性の向上や、広域的なネットワークを形成する道路軸へのアクセス路として整備を促進します。
	鉄道軸	本町唯一の鉄道駅である内海駅周辺のバリアフリー化の促進、公共交通の利用促進に向けた乗り継ぎ環境とバス待ち環境を整備することで、住民及び来訪者の利便性向上を図ります。
	海上交通軸	海上交通は、広域的な交流を促進する上でも重要な海上交通軸となっています。港湾施設の耐震化をはじめとする基盤整備や、観光情報機能の充実、ネットワークの維持・充実の促進に努めます。
拠点エリア	行政エリア	町役場を中心とする一帯を「行政エリア」と位置づけ、(都) 豊丘豊浜線沿道など周辺の低・未利用地の活用にも配慮しつつ、町民の生活を支える行政サービス機能の維持・充実に努めます。
	産業観光エリア	本町の基幹産業である漁業及び観光に関連する拠点エリアとして、既存の県水産試験場や物販施設、あるいは水産関連施設等の集積が見られる豊浜漁港周辺のエリアを「産業観光エリア」と位置づけます。このエリアでは、既存の水産関連施設を維持するとともに、海産物等を生かした新たな食の拠点として、また、漁業と観光を融合したレクリエーション拠点として、低・未利用地等の有効活用を含めて、県の事業と整合を図りながら関連施設の一層の集積を促進するなど、魅力の向上に努めます。
	交通結節エリア	公共交通による「交通結節エリア」として、内海駅周辺及び師崎港周辺を位置づけ、地域住民、来訪者等の利便性向上に資する施設の誘導などとともに、観光情報機能の充実や周辺景観整備などを通じて観光利用の促進を図ります。施設の整備にあっては、バリアフリー化の促進等、誰もが快適かつ安全で安心して利用できる施設となるよう配慮します。

■ 都市構造図



出典：都市計画マスタープラン

3-2 地域公共交通の将来像と基本方針・目標の見直し

観光振興の観点を強化し、次のように見直します。

(1) 公共交通の将来像

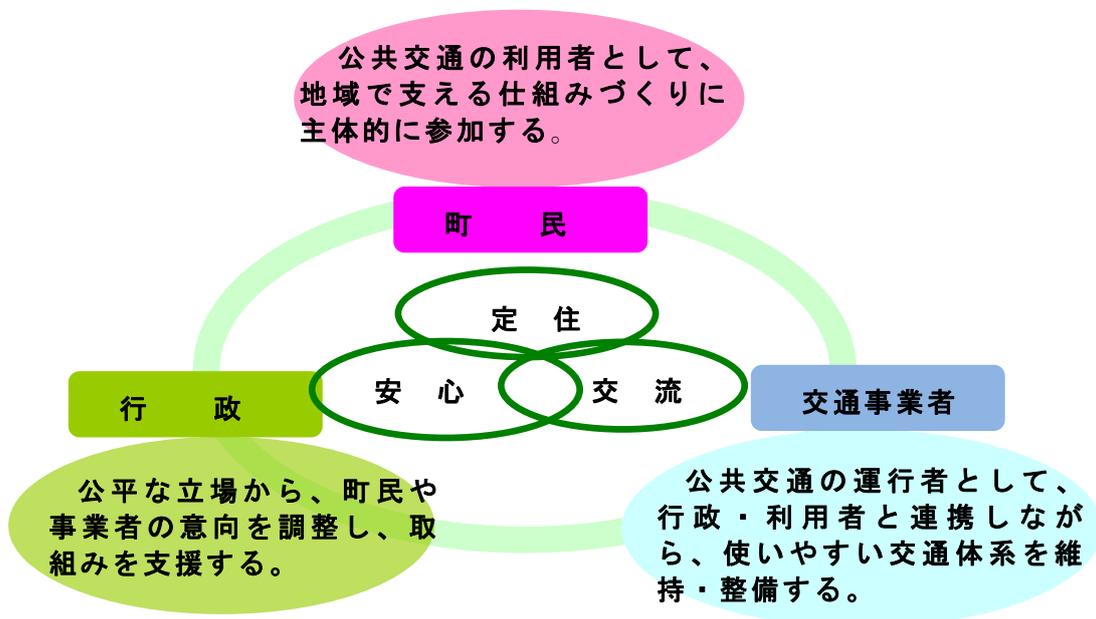
将来都市構造を支える公共交通の将来像については、町民の生活交通の利便性を維持・活性化するとともに、観光振興への寄与度を高めるものとして、次のように設定します。

町民の日常生活を支えるとともに観光客等の来街者にも便利な公共交通を、関係者の協働の取り組みによって実現する

公共交通の整備は、第6次南知多町総合計画の重点プロジェクトにも位置づけられており、新たな都市の活力や成長力を生み出す基盤づくりとして、戦略的に推進することとされています。

本町の公共交通は、地域住民のニーズにあった生活交通の確保による「定住」促進・「安心」確保の観点から、また、「交流」を促進する観光振興の観点から、利便性の高い公共交通の整備を、町民・交通事業者・行政がともに協働して取り組むことを目指します。

■協働による取り組みの考え方



(2) 公共交通活性化に向けた基本方針

公共交通の将来像の実現に向けて次の基本方針のもとに取り組みます。

- 方針1：町民の日常生活交通の確保を第一の目的とし、合わせて交流促進の観点から観光交通との融合にも配慮した公共交通の維持・活性化を図る。
- 方針2：地域のニーズにあった利便性の高い公共交通サービスを確保する。
- 方針3：地域のまちづくりと一体となって、地域ぐるみで公共交通を守り、育てる。

(3) 本町において公共交通が担うべき役割

上位計画におけるまちづくりの方向性を踏まえ、本町において公共交通が担う役割を次のように整理します。

①人口減少に歯止めをかける

総合計画において、「人口減少を食い止める」ための重点プロジェクトの一環として、公共交通の整備が位置づけられています。

公共交通を確保し利便性向上を図ることにより、定住を促進します。

②広域交流の支援

現在、通勤では2,904人（就業者の約27%）、通学では796人（通学者の約83%）が町外に通勤・通学しています（平成22年国勢調査による）。また、本町は知多半島の観光地として、多くの観光客が来訪しています。

公共交通は、通勤・通学等の日常移動及び観光振興の面で、他市町と結ぶ重要な交通手段としての役割を担っています。

③本町の拠点形成、土地利用の誘導

本町のまちづくりでは、都市軸と拠点の形成を目標に将来の都市構造を形成することを目指しています。

公共交通は、広域移動及び町内の各地からこれらの拠点へのアクセス交通手段として機能し、土地利用を誘導する役割を担います。

④町民の日常生活の支援

少子高齢化が進む中で、自動車を運転できない交通弱者にとっては、通勤・通学、通院、買い物等の目的で移動するために、公共交通は必要不可欠です。

公共交通は、町民が日常生活を送る上で重要な役割を担っています。

(4) まちづくり・観光振興との一体性

現在、本町のまちづくりとして、将来都市構造における交通結節エリアの機能向上につながる以下の事業が進行しています。これらの交通結節点では、バスと鉄道、バスと海上交通との接続を高め、公共交通全体の利便性向上を図ります。

① 師崎港周辺整備

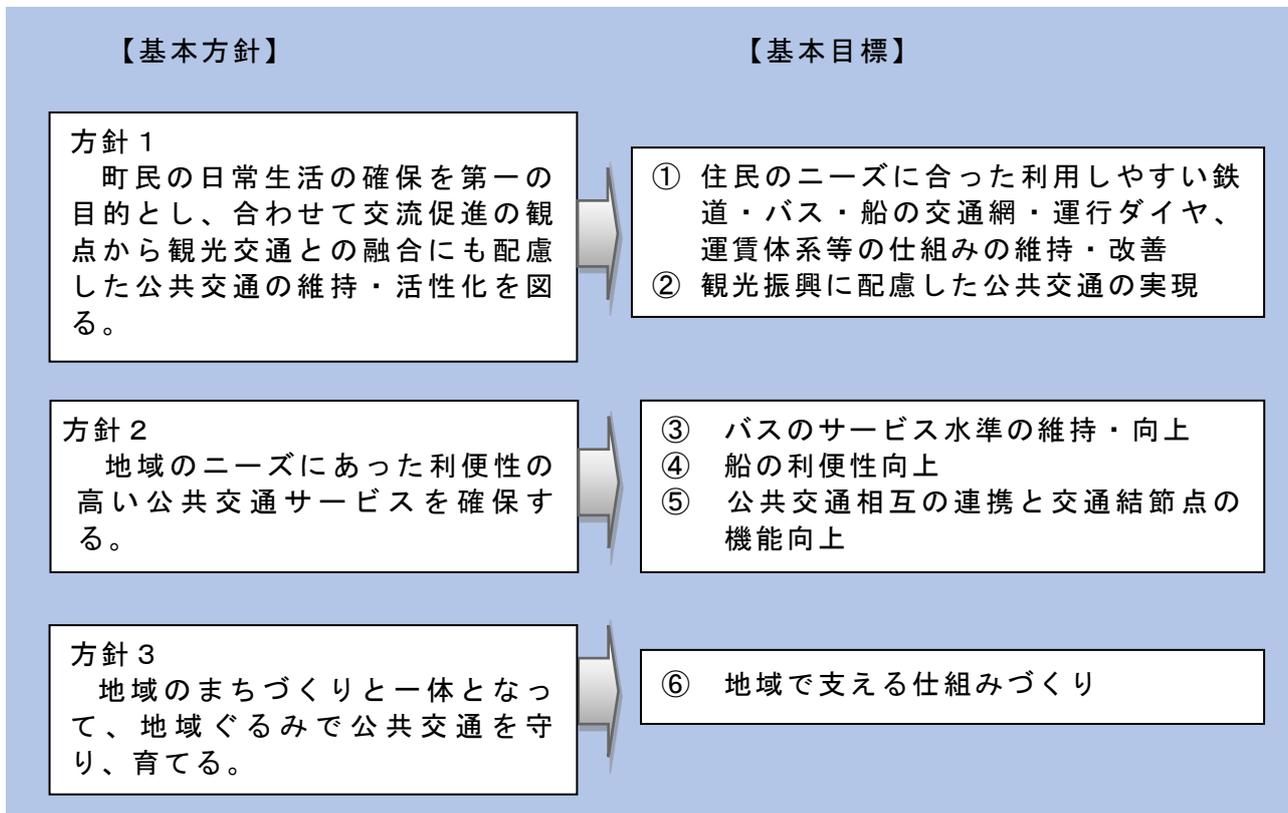
② 内海駅周辺の開発検討

また、本町の主要な産業の一つである観光の振興を図り、公共交通の利用者増につなげていくため、観光客への公共交通情報の提供、観光客向けの企画切符提供、公共交通車内での観光案内など、観光振興策との一体的な取り組みを拡大していきます。

3-3 計画の目標の見直し

(1) 基本目標

連携計画における計画の基本目標に対して、観光振興、交通結節点整備を追加し、以下のように見直します。



(2) 基本目標達成のための数値目標

基本目標に対応する具体的な数値目標は、連携計画で設定した目標に対して、分かりやすさ、データ入手のしやすさから一部修正し、次のように設定します。

方針	目標	目標指標	現況及び目標値																						
方針1 町民の日常生活交通の確保を第一の目的とし、合わせて交流促進の観点から観光交通との融合にも配慮した公共交通の維持・活性化を図る	① 住民のニーズに合った利用しやすい鉄道・バス・船の交通網・運行ダイヤ、運賃体系等の仕組みの維持・改善	鉄道サービス（運行本数）	《維持》 運行本数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">駅</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">現況</th> <th rowspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>平日</th> <th>土・休日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">内海駅</td> <td>発</td> <td>55</td> <td>55</td> <td rowspan="4">維持</td> </tr> <tr> <td>着</td> <td>57</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">河和駅</td> <td>発</td> <td>59</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>着</td> <td>58</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> ※現況は、H23年12月改正	駅		現況		目標	平日	土・休日	内海駅	発	55	55	維持	着	57	54	河和駅	発	59	57	着	58	58
		駅				現況			目標																
				平日	土・休日																				
内海駅	発	55	55	維持																					
	着	57	54																						
河和駅	発	59	57																						
	着	58	58																						
海っ子バス・知多バス・名鉄海上観光船の年間利用者数	《維持・向上》年間利用者数（乗車人員） <table border="1"> <thead> <tr> <th>交通機関</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海っ子バス 豊浜線</td> <td>82,951人/年</td> <td>10%程度増</td> </tr> <tr> <td>海っ子バス 西海岸線</td> <td>87,431人/年</td> <td>10%程度増</td> </tr> <tr> <td>知多バス 師崎線</td> <td>114,592人/年</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>名鉄海上観光船</td> <td>1,027,840人/年</td> <td>維持</td> </tr> </tbody> </table> ※現況は、H26年度（H25.10～H26.9） ※海っ子バス西海岸線に知多バス内海線を含む ※名鉄海上観光船は、師崎港と河和港含む	交通機関	現況	目標	海っ子バス 豊浜線	82,951人/年	10%程度増	海っ子バス 西海岸線	87,431人/年	10%程度増	知多バス 師崎線	114,592人/年	維持	名鉄海上観光船	1,027,840人/年	維持									
交通機関	現況	目標																							
海っ子バス 豊浜線	82,951人/年	10%程度増																							
海っ子バス 西海岸線	87,431人/年	10%程度増																							
知多バス 師崎線	114,592人/年	維持																							
名鉄海上観光船	1,027,840人/年	維持																							
海っ子バスの収支率 （持続可能性向上）	《向上》海っ子バス収支率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>交通機関</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海っ子バス</td> <td>32.3%</td> <td>3%増</td> </tr> </tbody> </table> ※H26年度の運賃収入 23,159,846円 ÷ 運行経費（委託料）71,764,200円	交通機関	現況	目標	海っ子バス	32.3%	3%増																		
交通機関	現況	目標																							
海っ子バス	32.3%	3%増																							
	② 観光振興に配慮した公共交通の実現	海っ子バス土休日1日平均利用者数	《向上》土休日の1日平均利用者数（乗車人員） <table border="1"> <thead> <tr> <th>交通機関</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊浜線</td> <td>158.9人/日</td> <td>10%程度増</td> </tr> <tr> <td>西海岸線</td> <td>130.6人/日</td> <td>10%程度増</td> </tr> </tbody> </table> ※現況は H26.6.5～H27.3.31 までの土休日96日間の1日平均	交通機関	現況	目標	豊浜線	158.9人/日	10%程度増	西海岸線	130.6人/日	10%程度増													
		交通機関	現況	目標																					
豊浜線	158.9人/日	10%程度増																							
西海岸線	130.6人/日	10%程度増																							

方針	目標	目標指標	現況及び目標値																					
方針2 地域のニーズにあった 利便性の高い公共交通 サービスを確保する	③ バスのサービス水準の 維持・向上	海っ子バス・知多 バスの運行本数	《維持》																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>交通機関</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海っ子バス</td> <td>16 往復/日 (32 便)</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>知多バス 師崎線</td> <td>平日 15.5 往復/日 (31 便) 土休日 13.5 往復/日 (27 便)</td> <td>維持</td> </tr> </tbody> </table>	交通機関	現況	目標	海っ子バス	16 往復/日 (32 便)	維持	知多バス 師崎線	平日 15.5 往復/日 (31 便) 土休日 13.5 往復/日 (27 便)	維持												
	交通機関	現況	目標																					
海っ子バス	16 往復/日 (32 便)	維持																						
知多バス 師崎線	平日 15.5 往復/日 (31 便) 土休日 13.5 往復/日 (27 便)	維持																						
公共交通 利用者の 満足度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>交通機関</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海っ子バス豊浜線</td> <td>57.1%</td> <td>2%程度増</td> </tr> <tr> <td>海っ子バス西海岸線</td> <td>66.4%</td> <td>2%程度増</td> </tr> <tr> <td>高速船（師崎港）</td> <td>26.2%</td> <td>維持</td> </tr> </tbody> </table>	交通機関	現況	目標	海っ子バス豊浜線	57.1%	2%程度増	海っ子バス西海岸線	66.4%	2%程度増	高速船（師崎港）	26.2%	維持											
交通機関	現況	目標																						
海っ子バス豊浜線	57.1%	2%程度増																						
海っ子バス西海岸線	66.4%	2%程度増																						
高速船（師崎港）	26.2%	維持																						
④ 船の利便性 向上	高速船の 運航便数	《維持》																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3～11月</td> <td>36 往復/日</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>35 往復/日</td> <td>維持</td> </tr> </tbody> </table>	期間	現況	目標	3～11月	36 往復/日	維持	その他	35 往復/日	維持													
期間	現況	目標																						
3～11月	36 往復/日	維持																						
その他	35 往復/日	維持																						
⑤ 公共交通相互の連携と 交通結節点の機能向上	交通結節 点の乗降 者数	《維持・向上》																						
		<p>鉄道乗車人員、バス乗降者数・高速船乗車人員</p> <p>(バスは海っ子バス対象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交通機関</th> <th>現況</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内海駅乗車人員</td> <td>734 人/日</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>河和駅乗車人員</td> <td>2,238 人/日</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td>内海駅のバス乗降者数</td> <td>45.4 人/日</td> <td>10% 程度増</td> </tr> <tr> <td>河和駅のバス乗降者数</td> <td>196.9 人/日</td> <td>10% 程度増</td> </tr> <tr> <td>豊浜バス停の乗降者数</td> <td>36.2 人/日</td> <td>10% 程度増</td> </tr> <tr> <td>師崎港バス停の乗降者数</td> <td>85.3 人/日</td> <td>10% 程度増</td> </tr> <tr> <td>師崎港の船の利用者数</td> <td>2,236 人/日</td> <td>維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>※鉄道は H26 年度 ※バスの現況は H26.6.5～H27.3.31 までの 300 日間の 1 日平均 ※師崎港は H26 年</p>	交通機関	現況	目標	内海駅乗車人員	734 人/日	維持	河和駅乗車人員	2,238 人/日	維持	内海駅のバス乗降者数	45.4 人/日	10% 程度増	河和駅のバス乗降者数	196.9 人/日	10% 程度増	豊浜バス停の乗降者数	36.2 人/日	10% 程度増	師崎港バス停の乗降者数	85.3 人/日	10% 程度増	師崎港の船の利用者数
交通機関	現況	目標																						
内海駅乗車人員	734 人/日	維持																						
河和駅乗車人員	2,238 人/日	維持																						
内海駅のバス乗降者数	45.4 人/日	10% 程度増																						
河和駅のバス乗降者数	196.9 人/日	10% 程度増																						
豊浜バス停の乗降者数	36.2 人/日	10% 程度増																						
師崎港バス停の乗降者数	85.3 人/日	10% 程度増																						
師崎港の船の利用者数	2,236 人/日	維持																						

方針	目標	目標指標	現況及び目標値
方針 3 地域のまちづくりと一体となって、地域ぐるみで公共交通を守り、育てる	⑥ 地域で支える仕組みづくり	タウンミーティングの開催回数	《維持》 現況：年間 2 回 目標：年間 2 回
		地域と連携した利用促進活動	《維持・向上》 現況：まちづくり協議会等との連携によるバス体験ツアー 2 回（H26 年度） 目標：まちづくり協議会等との連携による利用促進活動を年 2 回以上

3-4 公共交通ネットワークの方向

(1) ネットワーク再構築の基本的な考え方

基本方針を踏まえ、ネットワークを構成する路線の機能別階層を設定し、その階層ごとに必要とされるサービスを提供します。

①役割分担

次の3つの機能別階層を設定します。

- 広域幹線：本町における基幹的な公共交通であり、町外への移動を担います。
交通事業者による運行を基本とします。
- 幹線：広域幹線交通に接続し、主に町内の拠点間移動を担い、一部は町外にも接続します。本町内における基幹交通となるため、交通事業者及び本町が交通事業者と連携して運行します。
- 支線：広域幹線・支線で対応できない地域等にサービスする公共交通であり、町民の暮らしに必要な最小限の移動手段として機能します。

②役割ごとのサービス水準

■公共交通の役割分担とサービス水準

	対応	役割	利用目的	サービス水準
広域幹線	名古屋鉄道	広域移動	通勤・通学、 買い物、通 院、観光等、 多目的	朝から夜間まで、1 時間に数便の運行 本数
幹線	知多バス 海っ子バス 名鉄海上観光船	町内移動、 一部は町外		朝から夜間まで、 1時間に1便以上 の運行本数
支線	タクシー	バス利用困難 な移動	多目的	24時間、随時の運 行

(2) 公共交通ネットワーク

名鉄、バス、海上交通の連携により、地域間を連絡する公共交通ネットワークを形成します。

知多バス師崎線、海っ子バス豊浜線・西海岸線は、町民の生活交通・観光交通路線として現状を基本に運行します。河和駅、内海駅、師崎港、豊浜バス停を交通結節点とし、鉄道、海上交通及びバス間の乗り継ぎの利便性を確保します。これらの公共交通でサービス困難な地域、行き先、時間帯などについては、タクシーを有効に活用します。

■ 公共交通ネットワーク



4 目標を達成するための事業

4-1 事業概要

方針	目標	事業
方針1 町民の日常生活交通の確保を第一の目的とし、合わせて交流促進の観点から観光交通との融合にも配慮した公共交通の維持・活性化を図る。	①住民のニーズに合った利用しやすい鉄道・バス・船の交通網・運行ダイヤ、運賃体系等の仕組みの維持・改善	①-1 生活交通に加えて観光にも配慮した鉄道・バス・船のサービス確保
	②観光振興に配慮した公共交通の実現	②-1 鉄道、バス、海上交通、観光施設等を利用できる企画切符の発行 ②-2 観光客に向けた情報提供の推進
方針2 地域のニーズにあった利便性の高い公共交通サービスを確保する。	③バスのサービス水準の維持・向上	③-1 バス停の環境改善
	④船の利便性向上	④-1 海上交通の運航時間帯の延長
	⑤公共交通相互の連携と交通結節点の機能向上	⑤-1 マイ時刻表の作成支援 ⑤-2 モバイルサイトへの情報提供 ⑤-3 交通結節点のバリアフリー化の推進
方針3 地域のまちづくりと一体となって、地域ぐるみで公共交通を守り、育てる。	⑥地域で支える仕組みづくり	⑥-1 タウンミーティングの継続実施 ⑥-2 バス利用促進イベント等の実施 ⑥-3 運転免許自主返納の促進 ⑥-4 総合時刻表の作成

4-2 個別事業の概要

①-1 生活交通に加えて観光にも配慮した鉄道・バス・船のサービス確保

【実施主体：南知多町、観光協会、交通事業者】 平成28年度 実施計画作成、以降 実施

現行の公共交通ネットワークを基本にしつつ、町民の生活交通に加えて観光にも配慮した運行ルート、運行ダイヤ、運行方法を検討します。平日と土休日で異なるルートや運行ダイヤなど、利用者特性に合わせて、より利便性の高い運行方法などについて検討します。

【運行サービス水準の考え方】

連携計画で策定したサービス水準		現況での達成状況	本計画での考え方
運行ルート (バス)	・河和駅あるいは内海駅、知多厚生病院あるいは南知多病院のどちらかに乗り換えなしで運行	・海っ子バス、知多バス共に達成	・現行ルートの維持 ・需要に合わせてルートを変更
	・内海高校へのアクセスを確保	・知多バス内海線の廃止に伴い、平成27年10月から海っ子バスが代替運行	
(船)	・現行航路を維持	・維持	・師崎港～篠島・日間賀島間の高速船、フェリーの存続
運行本数 (鉄道)	—	・内海駅発 55本/日 (平日、土休日) ・河和駅発 59本/日 (平日) 57本 (土休日)	・現行水準の維持
(バス)	・師崎港に接続するバス便の増加	・西海岸線を増便 (6往復から16往復) ・豊浜線の運行時間を1時間延長 (20時台から21時台まで)	・現行水準の維持
(船)	・需要の変化に合わせて増便	・維持	・最終便の延長検討
運行時間帯	・通勤・通学の利用考慮し6時～20時台	■鉄道 ：内海駅・河和駅発 5時台～22時台 ■バス ：師崎港あるいは河和駅発 豊浜線：5時台～21時台 西海岸線：6時台～21時台 師崎線：6時台～20時台 ■高速船 ：両島あるいは師崎港発 6時台～19時台	・現行水準の維持、需要にあわせてルート変更

②-1 鉄道、バス、海上交通、観光施設等を利用できる企画切符の発行

【実施主体：南知多町、観光協会、交通事業者】 平成 28 年度 作成・PR, 以降 PR

鉄道、バス、海上交通を利用して町内の宿泊施設や飲食施設等を利用できる企画切符を作成します。

企画切符を利用した場合に、運賃の割引だけでなく町の特産品の割引など、また来たいと思っていただけるようなおもてなしにも配慮した企画とします。



(町内観光のパムフレット)

②-2 観光客に向けた情報提供の推進

【実施主体：南知多町、住民、観光協会、交通事業者】 平成 28 年度以降 実施

○パンフレットの配布

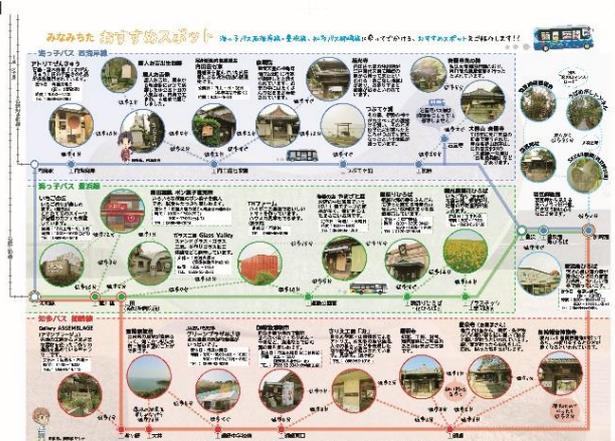
鉄道、バス、海上交通を使って町内の観光施設等を巡ることができる案内パンフレットを作成（改訂）し、駅などに配布します。ある施設に行くとき、どこのバス停で降りて何分くらい歩けばよいか分かるようにするとともに、公共交通の運行ダイヤも記載し、公共交通を使って町内を巡ることができるようにします。

○観光ボランティアによる案内の継続

海っ子バス西海岸線で行なっている観光ボランティアによる沿線案内については、関係者と協力して継続実施していきます。

○車内モニターの活用

海っ子バス車内のモニターについては、現在音声案内していますが、沿線の歴史、観光資源の紹介での活用など、より充実を図ります。



(「おでかけバスマップ 平成 27 年 3 月 南知多町作成)

③-1 バス停の環境改善

【実施主体：南知多町、住民、店舗等】 平成 28 年度以降 実施

利用者がバスを利用しやすい環境をつくるため、主要なバス停の上屋・ベンチ等を地域と協働して設置します。バス停の近くに店舗等がある場合には、店舗と協力して待合しやすい環境を確保します。

④-1 海上交通の運航時間延長

【実施主体：南知多町、名鉄海上観光船株】 平成 28 年度以降 実現に向けて検討・実施

師崎港から日間賀島・篠島への最終便は 19 時 10 分発ですが、通勤・通学利用や島で食事等をした後で師崎港へ戻る利用ニーズがあるため、最終時刻の延長を望む声が多くなっています。平成 23 年度に最終時刻延長の実証運航を行ったときには、20 時の最終便にたくさんの利用がありました。採算性を確保できないため本格運航には至りませんでした。

しかしながら、島民からの要望が強いため、再度、最終便延長の実現化を検討します。

⑤-1 マイ時刻表の作成支援

【実施主体：南知多町、交通事業者】 平成 28 年度以降 作成支援

平成 26 年度のタウンミーティングでは、町内 5 地域の高齢者団体などを対象に、地区ごとに知多厚生病院などへの通院に便利な時刻表を作成し、非常に便利という評価をいただきました。今後は、個人の生活ニーズ、生活パターンに合わせて、通勤・通学なども含めた多様な利用の仕方を想定した情報を提供し、個人が公共交通を利用しやすくなる「マイ時刻表」の作成を支援します。

師崎港発 海っ子バス時刻表									
① 知多厚生病院、浜田整形外科・内科（行き）									
バス運賃：浜田整形外科・内科、知多厚生病院へは片道300円、1日券500円 南知多病院へは片道160円									
海っ子バス 豊浜線					海っ子バス 西海岸線				
浜田整形外科・内科 着	9:04	10:04	11:14	12:14	13:14	14:14	15:14	16:14	18:14
知多厚生病院 着	9:11	10:11	11:21	12:21	13:21	14:21	15:21	16:21	
師崎港	8:30	9:30	10:40	11:40	12:40	13:40	14:40	15:40	
師崎西口	8:31	9:31	10:41	11:41	12:41	13:41	14:41	15:41	
美舟前	8:33	9:33	10:43	11:43	12:43	13:43	14:43	15:43	
南知多町役場前	8:47	9:47	10:57	11:57	12:57	13:57	14:57	15:57	
山田(南知多病院前)	8:57	9:57	11:07	12:07	13:07	14:07	15:07	16:07	
浜田整形外科・内科前	9:04	10:04	11:14	12:14	13:14	14:14	15:14	16:14	
知多厚生病院前	9:11	10:11	11:21	12:21	13:21	14:21	15:21	16:21	
※主なバス停のみ表示									
② 知多厚生病院、浜田整形外科・内科（帰り）									
海っ子バス 豊浜線					海っ子バス 西海岸線				
知多厚生病院 発	9:26	10:42	11:42	12:42	13:42	14:42	15:42	16:42	
浜田整形外科・内科 発	9:33	10:49	11:49	12:49	13:49	14:49	15:49	16:49	
知多厚生病院前	9:26	10:42	11:42	12:42	13:42	14:42	15:42	16:42	
浜田整形外科・内科前	9:33	10:49	11:49	12:49	13:49	14:49	15:49	16:49	
山田(南知多病院前)	9:40	10:56	11:56	12:56	13:56	14:56	15:56	16:56	
南知多町役場前	9:49	11:05	12:05	13:05	14:05	15:05	16:05	17:05	
美舟前	10:02	11:18	12:18	13:18	14:18	15:18	16:18	17:18	
師崎西口	10:04	11:20	12:20	13:20	14:20	15:20	16:20	17:20	
師崎港	10:05	11:21	12:21	13:21	14:21	15:21	16:21	17:21	
※主なバス停のみ表示									

(地区別時刻表の作成例—知多厚生病院、浜田整形外科・内科行き)

⑤-2 モバイルサイトへの情報提供

【実施主体：南知多町、交通事業者】 平成 28 年度以降 実施

パソコン、スマートフォンなどを活用した一部のモバイルサイトには、海っ子バスの運行ダイヤ情報を提供していますが、他のモバイルサイトへの情報提供や、知多バス・名鉄海上観光船も合わせた町内の公共交通のダイヤ情報を提供し、交通手段間の乗り継ぎ検索ができるようにします。

⑤-3 交通結節点のバリアフリー化の推進

【実施主体：南知多町、交通事業者】 平成 28 年度以降 計画検討、事業推進

師崎港観光センター周辺整備と合わせて、バリアフリーに配慮したバスターミナルの整備を目指します。

内海駅は、高架駅でありながら、利用者数が設置基準に満たないため、エレベータ等の施設が整備されていません。駅周辺のまちづくりを進めるとともに、町内観光の玄関口としての役割を強化し、駅の乗降者数の増加を図ることにより、バリアフリー施設の整備につなげます。

⑥-1 タウンミーティングの継続実施

【実施主体：南知多町、住民】 平成 28 年度以降 実施

毎年 2 回、5 地区別にタウンミーティングを開催し、住民に運行状況についての情報を提供するとともに、利用者の立場からの意見を伺ってきました。このタウンミーティングでの意見をもとに、豊浜線、西海岸線のルート変更や運行ダイヤの改正等を行ってきています。また、平成 26 年度は、主に高齢者のニーズの掘り起こしを目的に、高齢者団体等に絞ったタウンミーティングを開催しました。

今後も、タウンミーティングの開催内容に工夫をこらしながら継続して開催し、住民などの利用ニーズにあった運行を目指します。

⑥-2 バス利用促進イベント等の実施

【実施主体：南知多町、まちづくり協議会、住民】 平成28年度以降 実施

これまで、まちづくり協議会が主体となった小学生の町内バスツアーなど、様々なバス利用促進イベントを実施してきており、公共交通の利用促進につながっています。

今後も、バス利用を主目的としたイベント等を継続して実施するとともに、直接的な関係の薄いイベント等であっても、会場へのアクセスに公共交通利用を促すなど、各種イベント等を契機に公共交通の利用促進を図っていきます。

【小学生の町内バスツアー】



【海っ子バスお宝発見ツアー】



⑥-3 運転免許自主返納の促進

【実施主体：南知多町、警察、店舗等】 平成28・29年度検討・PR, 平成30年度以降 施策実施

愛知県下では、運転免許を自主返納した場合に、運転経歴証明書を提示すれば、特定の飲食店、ドラッグストアなどで割引を受けられるサービスがあります。また、公共交通の利用券を配布している自治体もあります。

本町においても、運転免許自主返納を促進するための施策の検討とPRを行っていきます。

⑥-4 総合時刻表の作成

【実施主体：南知多町、交通事業者】 平成28年度以降 実施

これまでに、海っ子バス、路線バス、鉄道、航路の路線図・時刻表を掲載した総合時刻表を作成していますが、路線の変更や運行・運航ダイヤの変更等に合わせて、時刻表の改訂版を作成し、町民、町内の宿泊・飲食施設、駅などに配布します。



■実施事業スケジュール

	事業	実施主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	①-1 生活交通に加えて観光にも配慮した鉄道・バス・船のサービス確保	南知多町、観光協会、交通事業者	実施計画作成		実施		
2	②-1 鉄道、バス、海上交通、観光施設等を利用できる企画切符の発行	南知多町、観光協会、交通事業者	作成・PR		PR		
3	②-2 観光客に向けた情報提供の推進	南知多町、住民、観光協会、交通事業者	実施				
4	③-1 バス停の環境改善	南知多町、住民、店舗等	実施				
5	④-1 海上交通の運航時間帯の延長	南知多町、名鉄海上観光船株	実現化にむけて検討・実施				
6	⑤-1 マイ時刻表の作成支援	南知多町、交通事業者	作成支援				
7	⑤-2 モバイルサイトへの情報提供	南知多町、交通事業者	実施				
8	⑤-3 交通結節点のバリアフリー化の推進	南知多町、交通事業者	計画検討			事業化推進	
9	⑥-1 タウンミーティングの継続実施	南知多町、住民	実施				
10	⑥-2 バス利用促進イベント等の実施	南知多町、まちづくり協議会、住民	実施				
11	⑥-3 運転免許自主返納の促進	南知多町、警察、店舗等	取組み検討	PR	施策の実施		
12	⑥-4 総合時刻表の作成	南知多町、交通事業者	ダイヤ改正等に合わせ作成		配布		

5 計画の達成状況の評価

5-1 PDCAサイクルの構築

本町の公共交通を持続し、より利便性の高いものとしていくため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルを繰り返すことにより、改善を図っていきます。評価に当たっては、計画上で定めた数値目標と実績値の比較に加えて、各実施事業の成果についても対象とします。

5-2 評価の方法及びスケジュール

(1) 評価の実施主体

町内の公共交通のPDCAサイクルの実施は、南知多町公共交通活性化・再生協議会が中心になって行います。ただし、その評価にあたり、タウンミーティング等を通して住民の意見を把握することとし、これを評価に反映する仕組みで行います。

(2) 評価のための収集データ

計画の目標に対する達成度を評価するため、以下のデータを定期的に収集します。

海っ子バスについては、バス車両に乗降カウンターを設置していることから、この機器を有効に活用して利用者データを収集します。また、毎年OD調査を実施します。

名古屋鉄道㈱、知多乗合㈱、名鉄海上観光船㈱の各社は、通常おこなっている調査等で収集しているデータを活用します。

■収集データ

調査	対象	主に収集するデータ	実施主体	把握の時期
利用者数等の調査	鉄道	・河和駅、内海駅の利用者数	名古屋鉄道㈱	毎年
	知多バス	・便別、停留所別利用者数	知多乗合㈱	毎年
	海っ子バス	・路線別年間利用者数（平日・土休日別） ・路線別、平日・土休日別、便別、停留所別利用者数 ・事業収支	南知多町	毎年
	名鉄海上観光船	・師崎港の利用者数	名鉄海上観光船㈱	毎年
利用者アンケート調査	バス、海上交通	・利用者の満足度	南知多町（交通事業者への委託を含む）	毎年

(3) 計画の目標に対する評価と改善策の実施

計画の目標に定めた指標について、毎年、その達成度を確認します。

本計画の目標年次である平成 32 年度及び平成 30 年度には、目標の達成状況について評価を実施し、達成状況が順調でないと判断される場合には、その原因を探り、改善策等を検討・実施します。

(4) 実施事業の評価と改善策の実施

本計画に示した事業については、実施スケジュールに対して的確に実施しているかどうか、どのような実施効果があったか、改善すべき事項などについて毎年度評価し、必要に応じて改善します。

(5) 評価・改善のスケジュール

評価・改善は、下記のスケジュールで行います。

計画目標については、平成 32 年度が目標年度ですが、平成 30 年度に中間の評価・改善を行います。

本計画の最終年度においては、計画全体及び公共交通網の適正について評価を実施し、次期計画を検討します。

■評価スケジュール

項目\年度	年 度				
	H28	H29	H30	H31	H32
協議会の開催	●	●	●	●	●
利用者数等調査	●	●	●	●	●
利用者等アンケート	●	●	●	●	●
実施事業の評価・改善	●	●	●	●	●
計画目標の評価・改善			●		●
次期計画の作成					●

●実施

資料一 1 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会委員名簿

平成26年度 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会委員名簿

(敬称略・順不同)

No.	区 分	役 職 名	委 員 名
(1)	住民又は利用者代表	社会福祉協議会会長(監事)	内 藤 宗 充
		内海地区区長会長	篠 部 勝 見
		豊浜地区区長会長	山 下 俊 郎
		師崎地区区長会長	磯 部 義 定
		篠島地区区長代表	小久保 成人
		日間賀島地区区長代表(副会長)	北 川 一 夫
		身体障害者福祉連合会会長	相 川 成 三
(2)	学識経験を有する者	愛知工業大学客員教授	伊豆原 浩二
(3)	町 議 会	南知多町議会議長	榎 戸 陵 友
		南知多町議会副議長	鳥 居 恵 子
		南知多町議会総務建設常任委員会委員長 (地域公共交通対策特別委員会委員長)	鈴 川 和 彦
		南知多町議会総務建設常任委員会副委員長	榎 本 芳 三
		南知多町議会議員(離島議員代表)	藤 井 満 久
(4)	自動車輸送事業者	知多乗合(株)取締役社長	勝 田 厚 秀
		レスクル(株)代表取締役	鶴 田 誠
(5)	定期航路事業者	名鉄海上観光船総務部長	中 村 英 司 (永井秀明)
(6)	愛知県バス協会	公益社団法人愛知県バス協会専務理事	古 田 寛
	愛知県タクシー協会	愛知県タクシー協会知多支部長 (名鉄知多タクシー(株))	藤 田 重 記
(7)	運転手代表	知多乗合労働組合書記長	盛 林 克 浩
		名鉄知多タクシー労働組合執行委員長	林 裕 人 (川上紀安)
(8)	全日本海員組合	全日本海員組合名古屋支部長	森 本 雷 行
(9)	国土交通省	国土交通省中部運輸局海事振興部旅客課長	中 川 仁 司
(10)		国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	後 藤 英 丸
(11)	半田警察署	半田警察署交通課長	中 川 正 義
(12)	愛 知 県	愛知県地域振興部交通対策課主幹	古 橋 昭
(13)		愛知県地域振興部地域政策課主幹	市 田 和 仁
(14)		愛知県知多建設事務所維持管理課長	高 嶋 敏 博
(15)	南知多町	南知多町長(会長)	石 黒 和 彦
(16)		企画部長(会計)	齋 藤 恵 吾
(17)		建設経済部長	平 山 康 雄
—	美 浜 町	防災安全課長(オブザーバー)	天 木 孝 利
	事務局	地域振興課長	鈴 木 良 一
		地域振興課 公共交通係長	坂 本 有 二
		地域振興課 公共交通係 主査	鈴 木 一 也

()内は、旧委員

平成27年度 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会委員名簿

(敬称略・順不同)

No.	区 分	役 職 名	委 員 名
(1)	住民又は利用者代表	社会福祉協議会会長(監事)	内 藤 宗 充
		内海地区区長会長(副会長)	篠 部 勝 見
		豊浜地区区長会長	松 本 好 平
		師崎地区区長会長	酒 井 一 夫
		篠島地区区長代表	小久保 成人
		日間賀島地区区長代表	杉 浦 和 夫
		身体障害者福祉連合会会長	鈴 木 俊 秀
		南知多町まちづくり協議会会長	鈴 木 浩 二
		南知多町観光協会会長	内 田 新 三
(2)	学識経験を有する者	愛知工業大学客員教授	伊豆原 浩二
(3)	町 議 会	南知多町議会議長	松 本 保 (榎戸陵友)
		南知多町議会副議長	榎 本 芳 三 (鳥居恵子)
		南知多町議会総務建設常任委員会委員長 (離島代表議員)	藤 井 満 久
		南知多町議会総務建設常任委員会副委員長	榎 戸 陵 友 (榎本芳三)
		南知多町議会議員 (地域公共交通対策特別委員会委員長)	鈴 川 和 彦
(4)	自動車輸送事業者	知多乗合(株)企画部長	橋 本 大 輔
		レスクル(株)代表取締役	鶴 田 誠
(5)	定期航路事業者	名鉄海上観光船(株)総務部長	中 村 英 司
(6)	愛知県バス協会	公益社団法人愛知県バス協会専務理事	古 田 寛
	愛知県タクシー協会	愛知県タクシー協会知多支部長	藤 田 重 記
(7)	運転手代表	知多乗合労働組合書記長	盛 林 克 浩
		名鉄知多タクシー労働組合執行委員長	林 裕 人
(8)	全日本海員組合	全日本海員組合名古屋支部長	金 子 浩 行 (森本雷行)
(9)	国土交通省	国土交通省中部運輸局海事振興部旅客課長	田 垣 喜 隆
(10)		国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	白 木 広 治
(11)	半田警察署	半田警察署交通課長	中 川 正 義
(12)	愛 知 県	愛知県振興部交通対策課主幹	小久保 信
(13)		愛知県振興部地域政策課主幹	近 藤 雅 俊
(14)		愛知県知多建設事務所維持管理課長	立 松 久 恵
(15)	南知多町	南知多町長(会長)	石 黒 和 彦
(16)		企画部長(会計)	林 昭 利
(17)		建設経済部長	吉 村 仁 志
—	美 浜 町	防災安全課長(オブザーバー)	石 濱 克 彦
	事務局	地域振興課長	鈴 木 良 一
		地域振興課 公共交通係長	坂 本 有 二
		地域振興課 公共交通係 主査	鈴 木 一 也

()内は、旧委員

資料－2 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会開催経緯

協議会	開催日	主な内容
平成 26 年度		
第 1 回	平成 26 年 5 月 30 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度決算について ・南知多町生活交通ネットワーク計画について
第 2 回	平成 26 年 11 月 13 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・知多バス（内海線）の廃止申し出について ・海っ子バス利用者実態調査の結果概要について ・海っ子バスを考える会について ・南知多町公共交通網形成計画の作成について ・地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について
第 3 回	平成 27 年 3 月 24 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度予算（案）について ・地域公共交通網形成計画について ・地域公共交通活性化・再生総合事業推進業務委託について ・海っ子バスを考える会結果報告について ・平成 26 年度事業報告について
平成 27 年度		
第 1 回	平成 27 年 5 月 22 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度決算について ・内海線について ・南知多町生活交通確保維持改善計画について ・南知多町地域公共交通網形成計画について ・乗合タクシー運賃変更の申し出について
第 2 回	平成 27 年 10 月 26 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・南知多町地域公共交通網形成計画（案）について ・地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について ・海っ子バス等利用実態調査の結果概要について ・海っ子バスを考える会の実施報告について ・海っ子バス体験ツアーについて ・海っ子バス西海岸線（内海高校行）について ・南知多町地域公共交通網形成計画のパブリックコメント実施（案）について
第 3 回	平成 28 年 3 月 23 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・南知多町地域公共交通網形成計画（案）について ・平成 28 年度予算（案）について ・地域公共交通活性化・再生総合事業推進業務委託について ・海っ子バス西海岸線の時刻改正について ・「海っ子バスを考える会」結果報告について ・平成 27 年度事業報告について